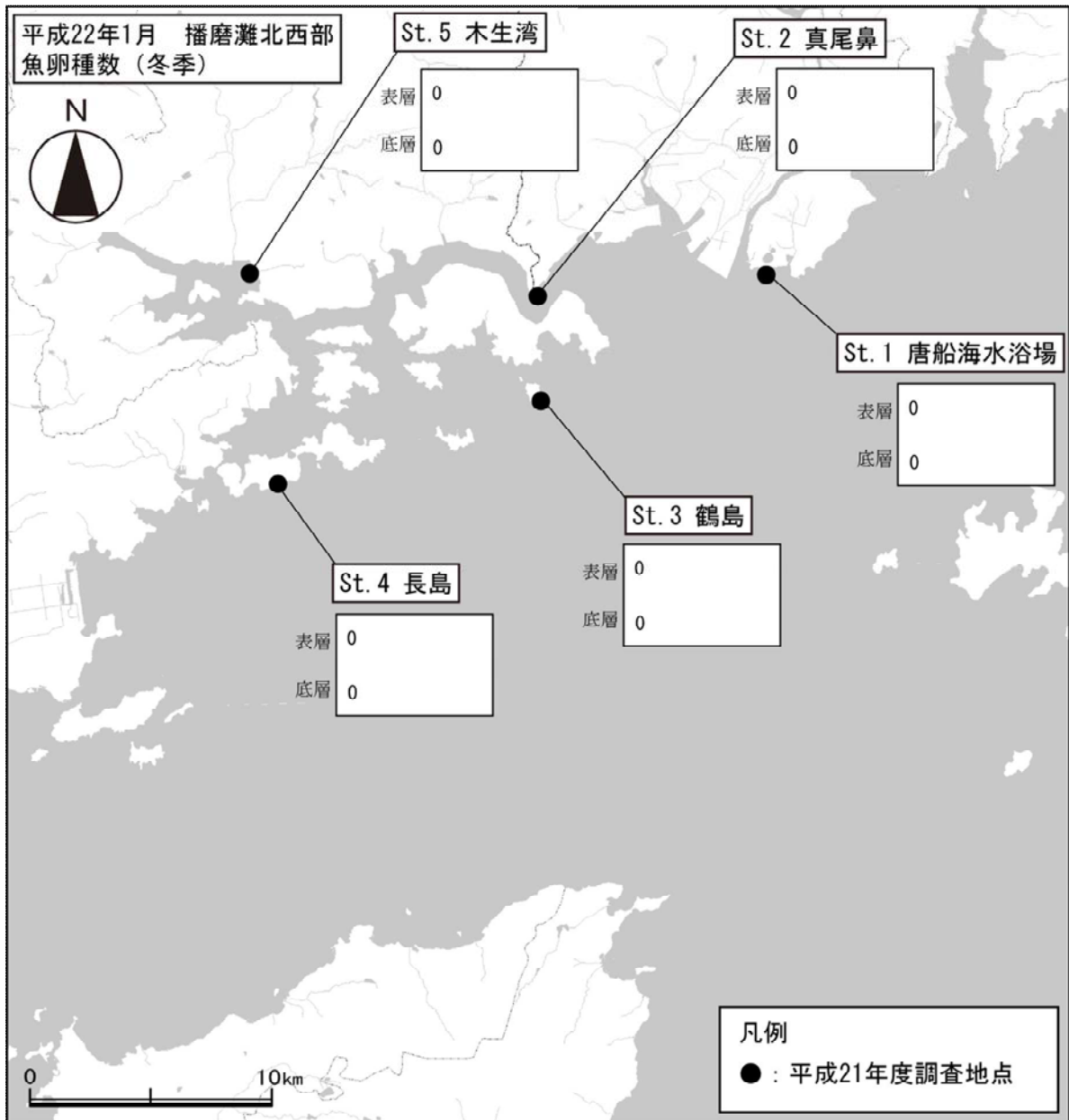


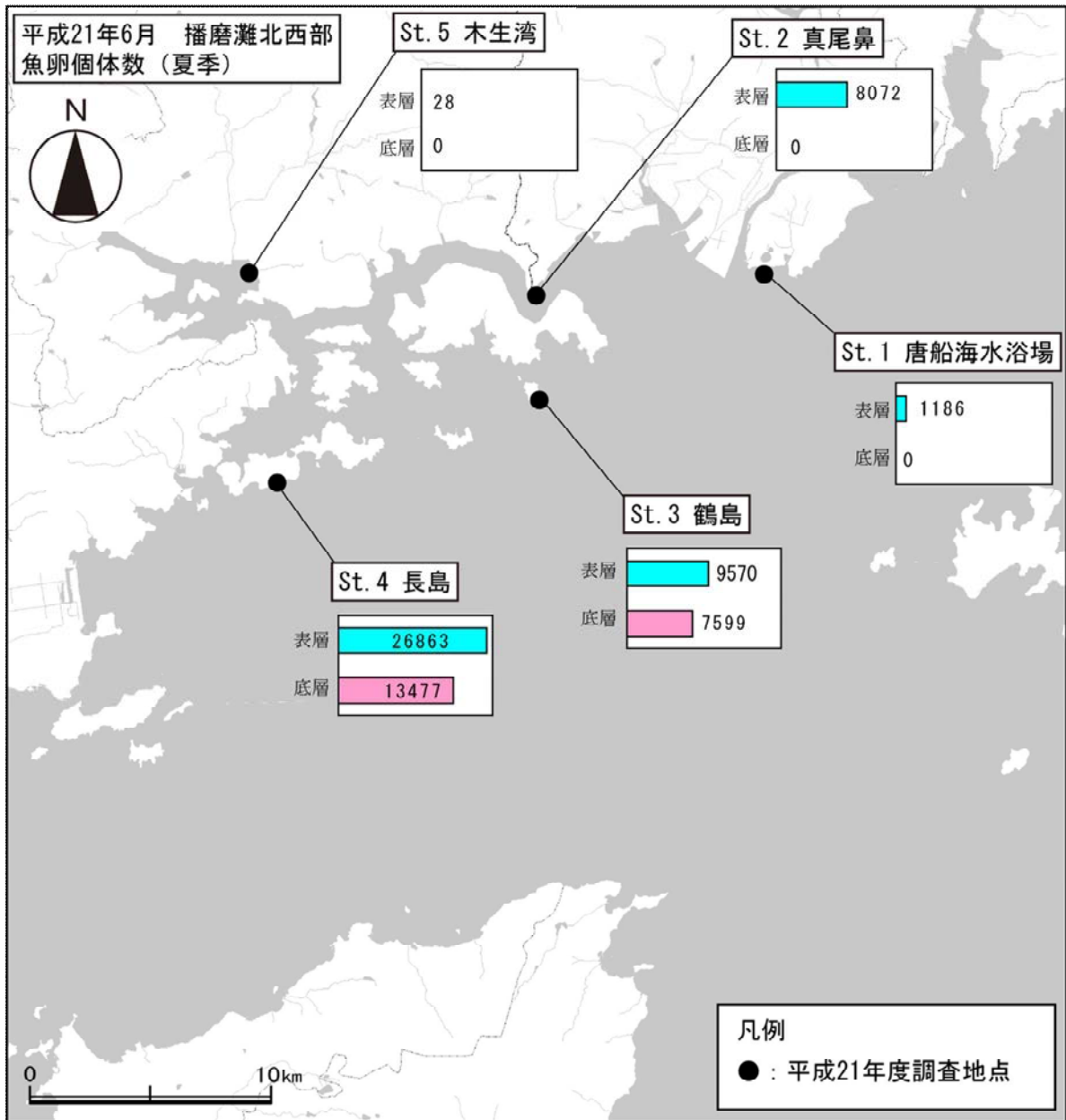
出典：「平成21年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 1.10(1) 魚卵種数の出現状況 (夏季)



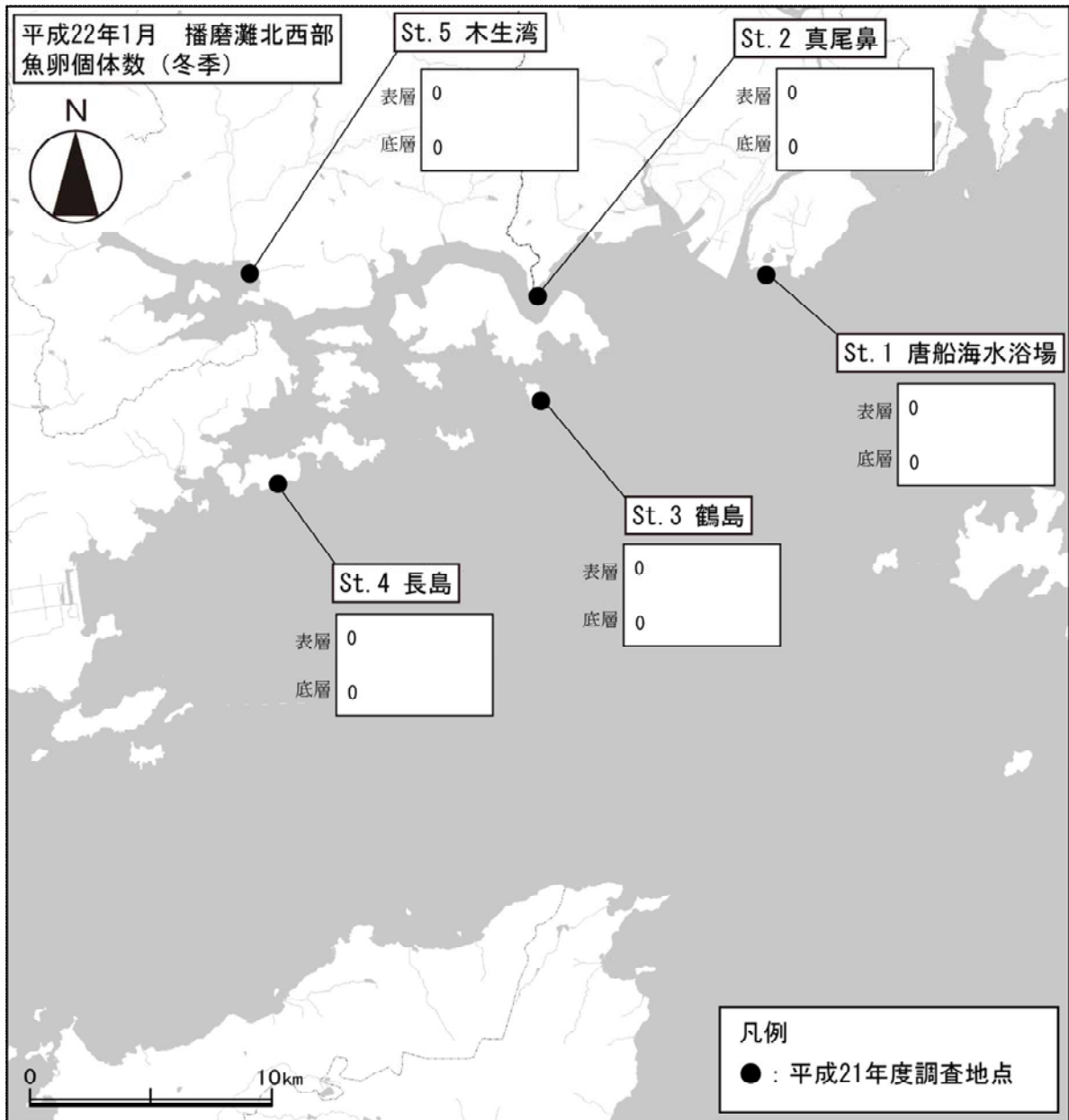
出典：「平成 21 年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 1.10(2) 魚卵種数の出現状況 (冬季)



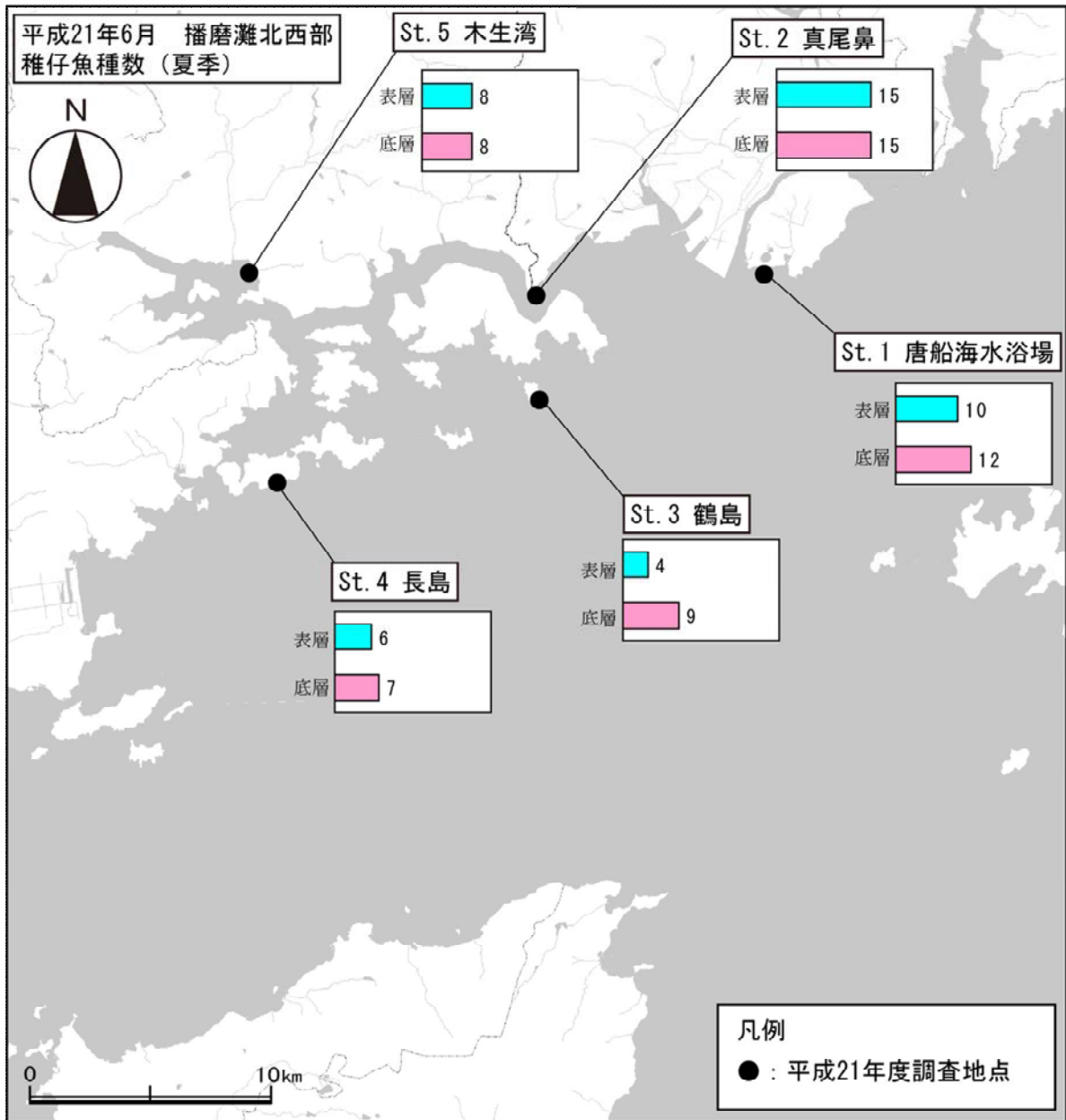
出典：「平成 21 年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 1.10(3) 魚卵個体数の出現状況 (夏季)



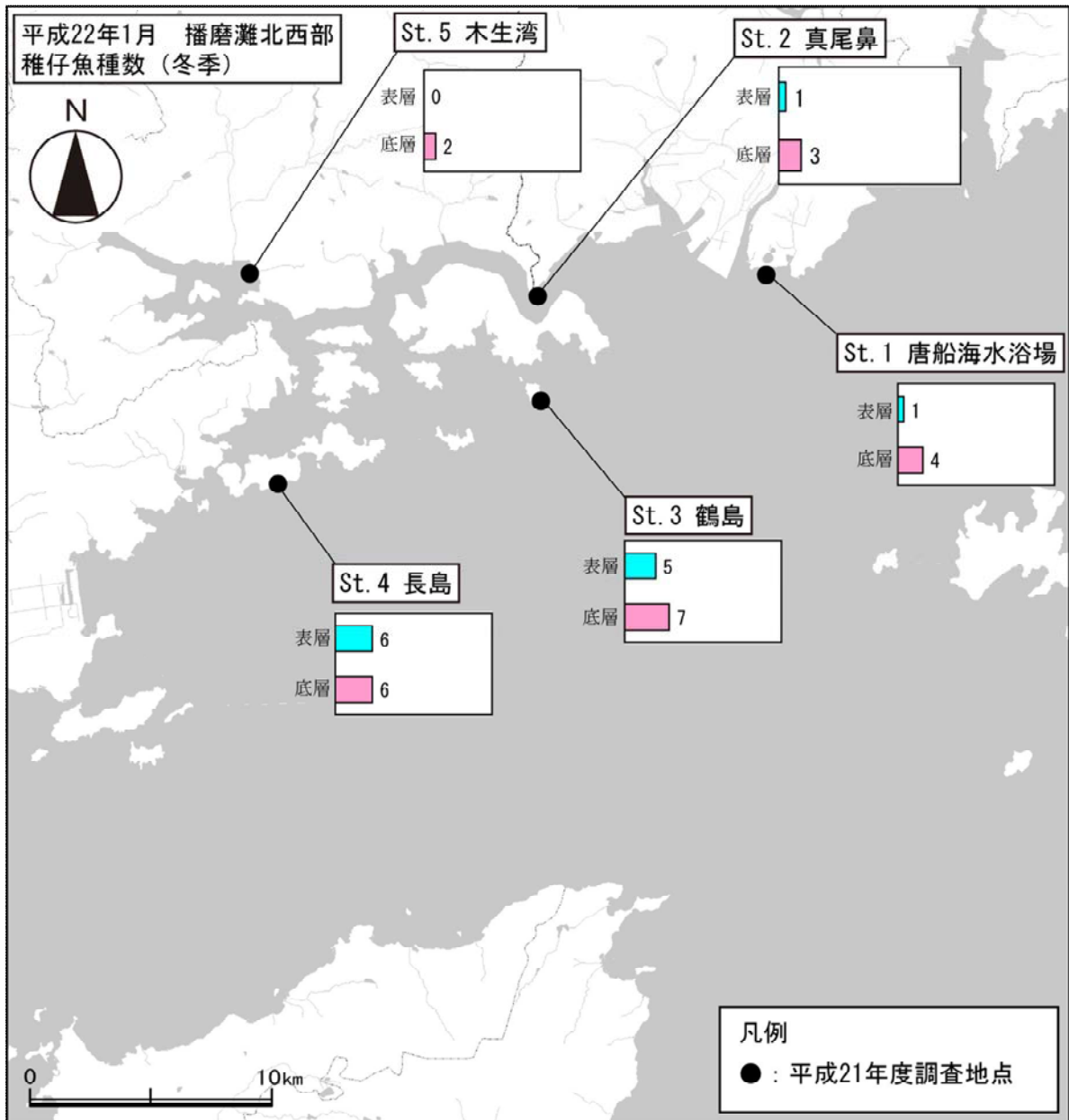
出典：「平成21年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 1.10(4) 魚卵個体数の出現状況 (冬季)



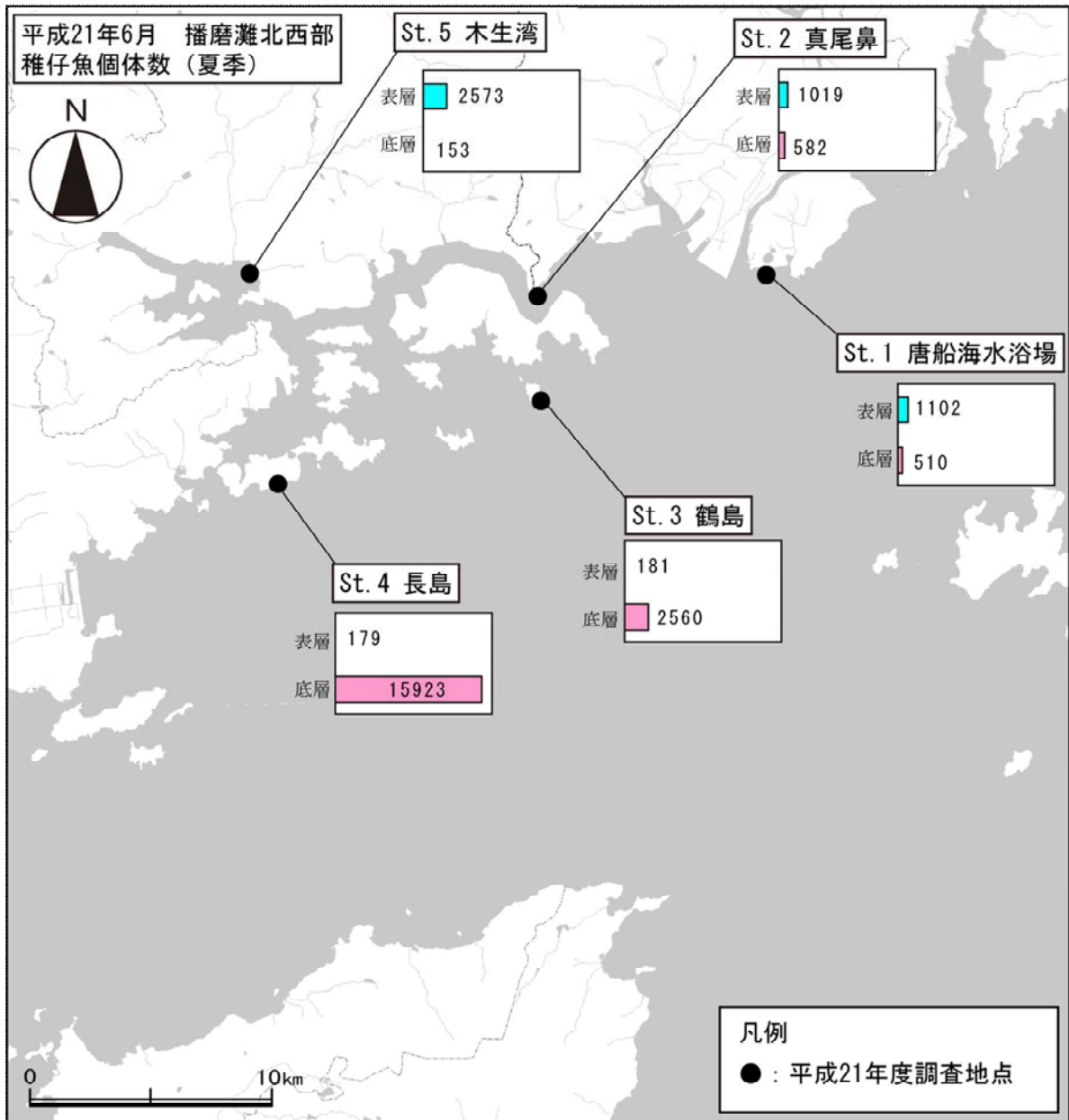
出典：「平成21年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 1.10(5) 稚仔魚種数の出現状況 (夏季)



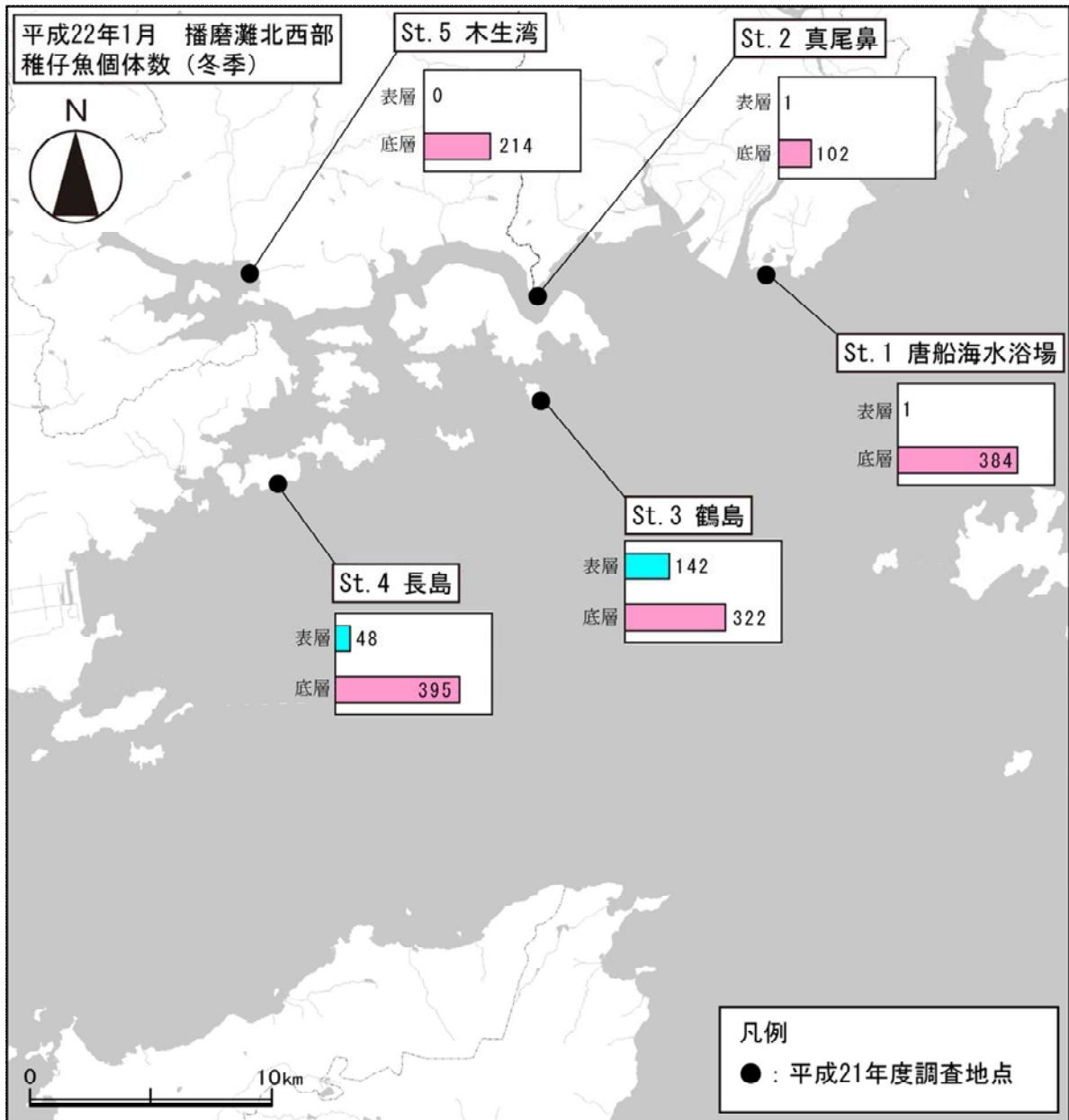
出典：「平成21年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 1.10(6) 稚仔魚種数の出現状況 (冬季)



出典：「平成21年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 1.10(7) 稚仔魚個体数の出現状況 (夏季)



出典：「平成21年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 1.10(8) 稚仔魚個体数の出現状況 (冬季)



## 2. 備讃瀬戸

### (1) 水域の概況

備讃瀬戸は瀬戸内海の中央からやや東側に位置し、東は小豆島を挟んで播磨灘に、西は笠岡諸島及び莊内半島を挟んで備後灘、燧灘に接している。多島海で、水深変化の大きい海域である。

「環境基準に係る水域及び地域の指定の事務に関する政令（平成5年11月19日政令371号）では、岡山県玉野市出崎と香川県井島ヘガラ崎を結ぶ線、同島鞍掛鼻と同県豊島ダーダガ鼻を結ぶ線、同島礼田崎と高松市長崎鼻を結ぶ線、広島県福山市狐崎と広島県宇治島西端を結ぶ線、同島南端と香川県三崎を結ぶ線及び陸岸により囲まれた海域として定義している。流域面積は約5,929 km<sup>2</sup>、水面面積は1,084 km<sup>2</sup>に及ぶ海域である。

### (2) 魚介類の生息状況

#### ・日本の有用魚介類の生息状況

日本の沿岸海域は暖流と寒流の影響を受け、海岸・海底地形が変化に富むことから、種々の魚介類が生息しており、その中でも海産魚類は3,000種以上が生息していると言われている。

日本の沿岸海域に生息する魚介類には、マグロ類、カツオ類及びサバ類等の外海性の種、ズワイガニ等の深海性の種、カレイ類やタイ類及び貝類等の沿岸・内湾性の種に大別される。

#### ・備讃瀬戸における魚介類の生息状況

既存の調査によれば、備讃瀬戸を含む瀬戸内海における主な漁獲対象種は以下のとおりである

魚類：イカナゴ、コノシロ、マコガレイ・イシガレイ・メイトガレイ、ヒラメ、クロダイ、マダイ、スズキ、ニベ、シログチ、ベラ、カサゴ、メバル、アイナメ、トカゲエソ、サワラ、マナガツオ、カタクチイワシ、タチウオ、サバ、マアジ、マルアジ、ハモ、マエソ、マイワシ、マアナゴ、ボラ、ブリ、イボダイ、シロザメ、アカエイ、タマガンゾウピラメ、イヌノシタ、イサキ、シイラ、トラフグ、カワハギ、アカカマス、ウナギ

貝類：アサリ、アカガイ、サルボウ、タイラギ、トリガイ、バカガイ、ハマグリ、マテガイ、サザエ

イカ・タコ類：マダコ、イイダコ、テナガタコ、コウイカ、スルメイカ

エビ・カニ類：ガザミ、シャコ、クルマエビ、アカエビ、キシエビ、ヨシエビ

### (3) 水質

#### ・水域類型指定状況（図2.1）

備讃瀬戸については、備讃瀬戸、水島港区、玉島港区、水島地先海域（甲）、水島地先海域（乙）、箕島町地先海域、詰田川尻、高松港、坂出港、番の州泊地の10水域について、水質環境基準の生活環境項目について水域類型が指定されている（A類型3水域、B類型5水域、C類型2水域）。

備讃瀬戸（イ）～（ハ）水島港区、水島地先海域、箕島町地先海域の6水域については、全窒素、全燐にかかる環境基準の水域類型が指定されている（類型4水域、類型1水域、類型1水域）。

・ 水質汚濁の状況（表 2.1）

COD75%値の過去3年間の水質測定結果からみると、C類型の水島港区では基準値を満足している。B類型のうち、水島地先海域（甲）、高松港、番の州泊地では基準値を満足している。坂出港、箕島町地先海域では、いずれも2地点中1地点で基準値を超過している。

全窒素平均値の過去3年間の水質測定結果からみると、A類型の箕島町地先海域では2地点中1地点の1年を除いて基準値を超過している。B類型の水島港区では2地点中1地点で基準値を超過している。C類型の水島地先海域では5地点中2地点で基準値を超過している。D類型の備讃瀬戸（イ）では、岡山県ではすべての地点で基準値を満足している。香川県では9地点中5地点で基準値を超過している。E類型の備讃瀬戸（ロ）では、岡山県ではすべての地点で基準値を満足している。広島県では3地点中1地点の1年のみで基準値を超過している。F類型の備讃瀬戸（ハ）ではすべての地点で基準値を満足している。

全燐平均値の過去3年間の水質測定結果からみると、A類型の箕島町地先海域では基準値を満足している。B類型の水島港区では2地点中1地点で基準値を超過している。C類型の水島地先海域では5地点中1地点で基準値を満足している。D類型の備讃瀬戸（イ）では、岡山県ではすべての地点で基準値を満足している。香川県では9地点中5地点で基準値を超過している。E類型の備讃瀬戸（ロ）では、岡山県ではすべての地点で基準値を満足している。広島県では3地点中1地点の1年のみで基準値を超過している。F類型の備讃瀬戸（ハ）ではすべての地点で基準値を満足している。

・ 亜鉛の水質の状況（図 2.2、表 2.1）

過去3年間の調査の結果、すべての地点で0.01mg/L(生物特A類型の環境基準値)以下であった。

・ ノニルフェノールの水質の状況

瀬戸内海を含む、公共用水域の海域における調査では、0.0007mg/L(生物特A類型の環境基準値)を超過する地点はなかった（「水生生物の保全に係る水質環境基準の項目追加等について（第1次答申）」平成24年3月より）。

・ LASの水質の状況

瀬戸内海を含む、公共用水域の海域における調査では、0.006mg/L(生物特A類型の環境基準値)を超過する地点はなかった（「水生生物の保全に係る水質環境基準の項目追加等について（第2次答申）」平成24年12月より）。

(4) 産卵・産仔場及び幼稚子の生育場の状況

一般的環境条件（地形・水質等）

・ 地理条件

日本近海に生息する内湾性の魚介類は、産卵・産仔場及び生育場（以下「産卵場等」という。）として干潟（その周辺の浅海域を含む、以下同じ。）、藻場（その周辺の浅海域を含む、以下同じ。）、浅場及び珊瑚礁を利用するものが多く、水深を含む海底地形は魚介類の産卵場等の形成に重要な役割を果たしている。なお、過半の種が水深30m以浅の水深帯を産卵場等

として利用しており、以後 30m以浅の海域を浅場とする。

また、底質は、砂泥、礫、転石及び岩礁等があり、内湾性の魚介類は、産卵場等として砂泥域や岩礁域等を利用するものが多く、魚介類の生息に適しているものと考えられる。

- ・ 水質条件

魚介類の生息条件にDO（溶存酸素濃度）は極めて重要であり、概ね 3 mg/L 以上があれば魚介類は生息できるものと言われている。なお、閉鎖性の高い内湾域では、夏季に貧酸素水塊の発生が問題となっているが、干潟は貧酸素水塊の影響を受けにくいいため、魚介類の生育場や成魚の避難場所としても利用されている。

### 備讃瀬戸における環境の状況

- ・ 底質の状況（図 2.3）

備讃瀬戸の底質分布は、北西部を中心に西側にかけて広く泥質が分布するが、東部から中央部島しょ部周辺においては砂を中心とした底質が広がっている。西側の泥質については、魚介類の産卵や生育に適する水域とは考えにくい。

- ・ 保護水面等に指定されている水域（図 2.4）

備讃瀬戸には水産資源保護法に基づく保護水面として、玉越保護水面、粟島保護水面、高島保護水面の3箇所が指定されている。また、規則・条例に基づく保護水面として、岡山県日比地先、味野地先、大島小島地先、北木島地先、白石島地先、香川県直島長向島地先、釜島地先が指定されている。

- ・ 干潟の存在状況（図 2.5，表 2.2）

備讃瀬戸の干潟は、北東部、南東部、中央部、南西部及び北西部のいずれにも存在し、前浜干潟や河口干潟が多い。岡山県に 15 箇所、広島県に 13 箇所、香川県に 29 箇所の計 57 箇所があり、規模の大きいものとしては、岡山県では水落（130ha）、高崎沖（53ha）、広島県では芦田川（敷網）（48ha）、香川県では春日川河口（75.6ha）、土器川口（55.5ha）、園の州（51.7ha）などが存在する。

- ・ 藻場の存在状況（図 2.6、表 2.3）

備讃瀬戸の藻場は、中央部島しょ部及び北西部島しょ部を中心に広く分布する。ガラモ場、ワカメ場、アマモ場が多く、規模の大きいものとしては、岡山県では沖藻（計 189ha）、高州（52ha）、じんば（32ha）、香川県では高見島東（117.6ha）、佐柳島東（112ha）、女木島東沖（70ha）、土器町埋立（40ha）などが存在し、藻場の総面積は 1,128ha である。

- ・ 浅場の存在状況（図 2.7）

備讃瀬戸の水深は、島しょ部周辺で変化が大きく、東側の海域では 30m を超える水深帯が複雑に存在している。ある程度の広がりを持った浅場として以下の水域がある。

北東部の浅場、南東部の浅場、中央部の浅場、南西部の浅場及び北西部の浅場。

・ 水質の状況 (図 2.8)

備讃瀬戸の夏季の下層 DO は、北西部でやや低いが、顕著な勾配がみられず、下層 DO が 3mg/L 以下の貧酸素水域はみられない。

備讃瀬戸における魚介類の生息状況

・ 備讃瀬戸における主要な魚介類の選定 (表 2.4)

備讃瀬戸を含む瀬戸内海における主な漁獲対象種は前記に掲げる 60 種あるが、これらの種のうち、近年の漁獲量、魚介類の生活型及び産卵や幼稚仔の生育にあたって、干潟・藻場・浅場等特定の場に依存する主要種として、スズキ、マコガレイ、イシガレイ、ヒラメ、マダイ、クルマエビ、ガザミの 7 種が挙げられる。

・ 主要魚介類の生態特性からみて好適と考えられる産卵場等 (図 2.9)

上記により選定した 7 種について主要な干潟・藻場・浅場で産卵・生育に好適と考えられる水域は、各産卵・産仔期等の産卵場等における底質の状況や貧酸素水塊の影響、水深を考慮すると、以下のとおりである。

スズキ

生育場として北東部の浅場、南東部の浅場、中央部島しょ部の藻場、南西部の浅場及び北西部島しょ部の藻場。

マコガレイ

生育場として北西部島しょ部の藻場及び北西部の干潟、産卵場及び生育場として北東部の浅場、南東部の浅場、中央部島しょ部の藻場、中央部の浅場及び南西部の浅場。

イシガレイ

生育場として北西部の干潟、産卵場及び生育場として北東部の浅場、南東部の浅場、中央部島しょ部の藻場、中央部の浅場及び南西部の浅場。

ヒラメ

産卵場及び生育場として北東部の浅場、南東部の浅場、中央部島しょ部の藻場、中央部の浅場及び南西部の浅場。

マダイ

生育場として北東部の浅場、南東部の浅場、中央部島しょ部の藻場、中央部の浅場及び南西部の浅場。

ガザミ

生育場として北西部の干潟、産卵場及び生育場として北東部の浅場、南東部の浅場、中央部の浅場及び南西部の浅場。

クルマエビ

生育場として北西部の干潟、産卵場及び生育場として北東部の浅場、南東部の浅場、中央部島しょ部の藻場、中央部の浅場及び南西部の浅場。

・ 漁場分布からみた干潟・藻場の利用状況（表 2.6、図 2.10）

平成 11 年に水産庁等が実施した漁場環境・水産資源状況把握調査から、漁場分布と重ね合わせてみると、スズキは北東部の藻場、北西部島しょ部の藻場及び北西部の干潟、カレイ類（マコガレイ、イシガレイ）及びヒラメは北東部の浅場、南東部の浅場、中央部の浅場、南西部の浅場及び北西部の浅場、ガザミは南東部の藻場、中央部の浅場、南西部の浅場及び北西部の干潟、クルマエビは南東部の藻場、中央部の浅場、南西部の浅場及び北西部の干潟で産卵を行っていると考えられる。なお、マダイについては当該海域に濃密な利用水域はない。

・ 魚卵・稚仔魚の分布等からみた干潟・藻場の利用状況（表 2.7、図 2.11）

環境省が平成 22 年度に実施した備讃瀬戸における魚卵及び稚仔魚の調査結果からみて、北東部の浅場、南東部の浅場、中央部の浅場、南西部の浅場及び北西部の干潟は、魚類の産卵及び生育場として利用されていると考えられる。

## 2. 備讃瀬戸

### 2.1 類型指定を行うために必要な情報の整理

(1)水域類型指定状況	43
(2)近年の水質の状況	
・ COD	45
・ 全窒素、全燐	49
・ 全亜鉛	52
(3)底質状況	55
(4)保護水面等により水産動植物の保護が図られている水域	56
(5)干潟、藻場、浅場の状況	
・ 主要な干潟・藻場の分布	58
・ 主要な浅場	64
(6)下層 D0 の分布	
・ 夏季下層 D0 の分布	65
(7)主要魚介類	
・ 主要魚介類の選定結果	66
・ 生態特性	67
・ 好適な水域	69
・ 主要魚介類の漁場分布からみた干潟・藻場等の利用状況	76
・ 漁場分布	77
・ 主要魚種の産卵場及び生育場について	83
・ 魚卵及び稚仔魚の出現状況	84

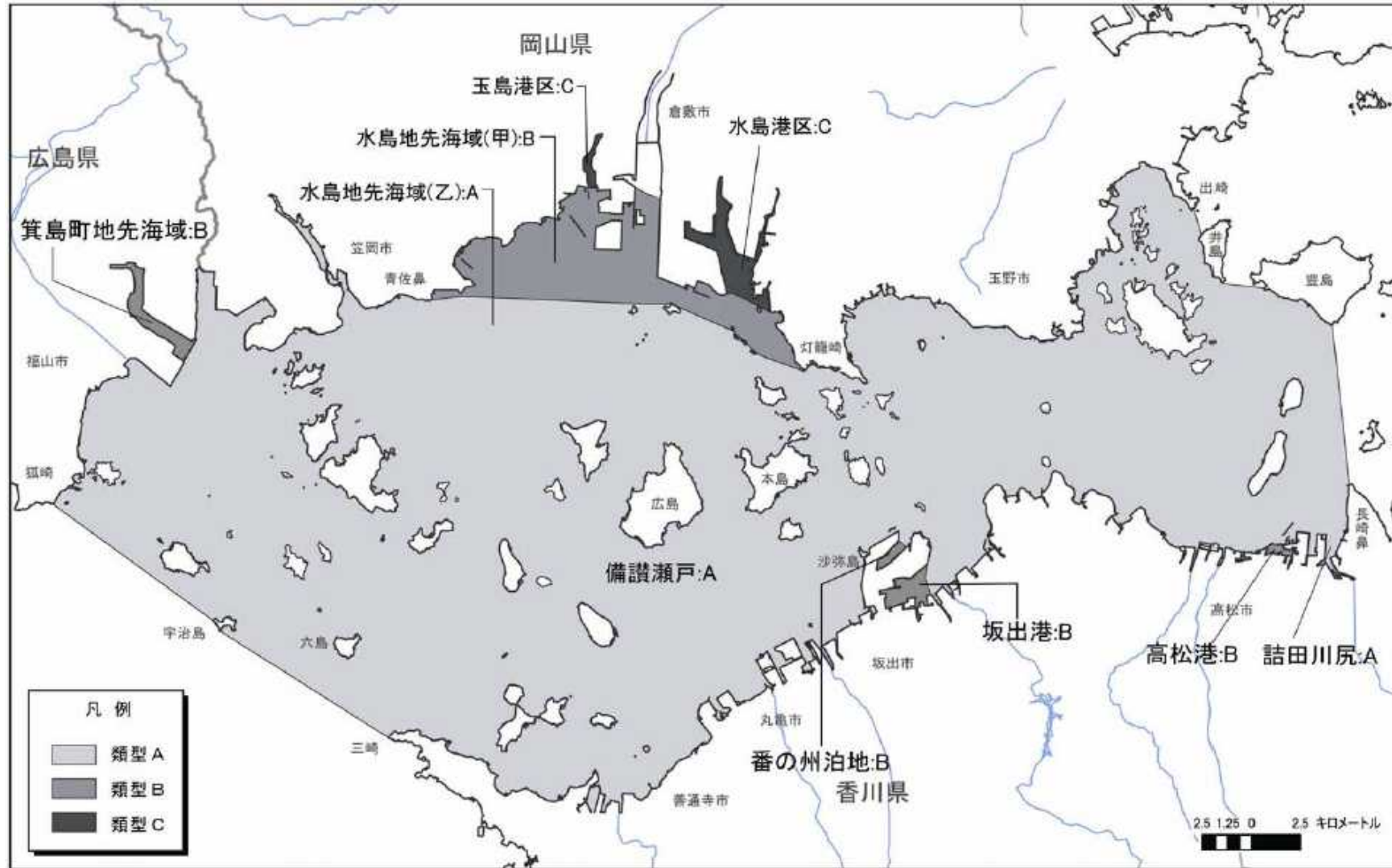


図 2.1(1) 水質汚濁に係る環境基準の類型指定状況 (COD)

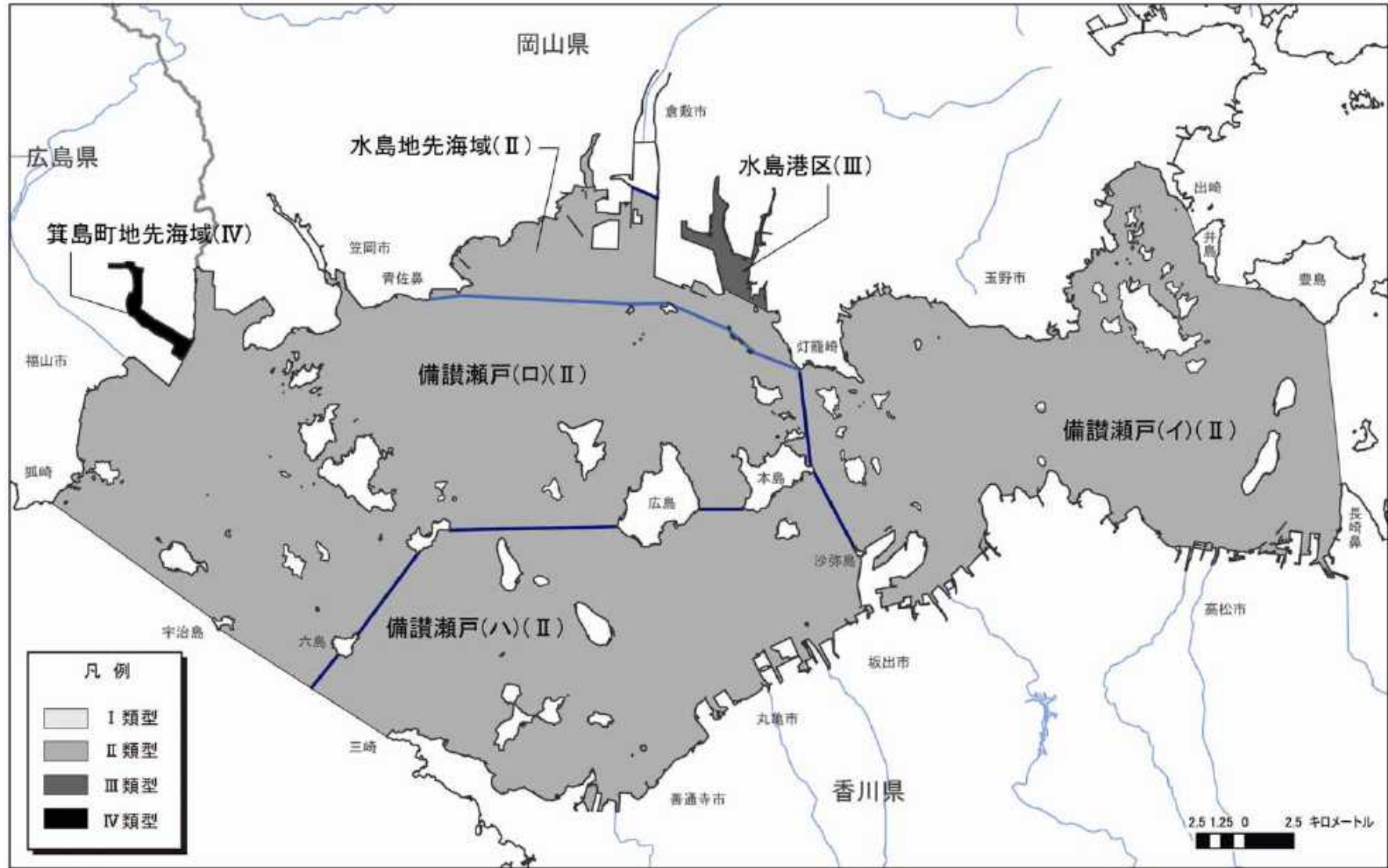


図 2.1(2) 水質汚濁に係る環境基準の類型指定状況 (全窒素・全燐)



表 2.1(1) 近年の水質の状況 (COD)

水域名	類型	県及び 地点名	年度	COD							
				最小値	最大値	平均値	75%値	基準値			
水島港区	C	岡山県 601-01	H21	1.3	4.4	2.4	2.5	8.0			
			H22	1.4	4.1	2.2	2.6				
			H23	1.5	4.6	2.3	2.2				
		岡山県 601-51	H21	2.2	4.3	3.0	3.4				
			H22	2.1	4.7	3.0	3.1				
			H23	1.9	4.6	2.8	3.7				
		岡山県 601-52	H21	2.2	3.7	2.9	3.1				
			H22	2.1	7.4	4.1	5.2				
			H23	1.8	7.1	3.4	4.1				
		岡山県 601-54	H21	1.7	4.3	2.5	2.5				
			H22	1.8	4.2	2.5	2.7				
			H23	1.6	4.0	2.2	2.3				
水島地先海域(甲)	B	岡山県 603-01	H21	1.5	4.3	2.6	2.9	3.0			
			H22	1.4	4.1	2.1	2.4				
			H23	1.6	5.5	2.4	2.4				
		岡山県 603-02	H21	1.4	3.6	2.3	2.5				
			H22	1.3	3.6	1.9	2.2				
			H23	1.4	2.6	2.0	2.1				
		岡山県 603-03	H21	1.6	3.3	2.1	2.4				
			H22	1.2	2.7	1.7	1.9				
			H23	1.4	2.1	1.7	1.9				
		岡山県 603-52	H21	1.7	3.8	2.6	2.9				
			H22	1.5	2.4	2.0	2.2				
			H23	1.6	5.9	2.3	2.2				
		岡山県 603-53	H21	1.1	3.6	2.3	2.4				
			H22	1.3	2.4	1.9	2.3				
			H23	1.5	2.8	2.0	2.3				
		岡山県 603-54	H21	1.6	5.3	2.7	2.8				
			H22	1.8	5.4	2.7	2.7				
			H23	1.9	6.9	2.8	2.8				
		水島地先海域(乙)	A	岡山県 604-01	H21	1.6	3.1		2.1	2.2	2.0
					H22	1.4	3.5		1.9	2.0	
					H23	1.4	4.3		2.0	1.9	
				岡山県 604-51	H21	1.2	2.3		1.8	1.9	
					H22	1.2	2.3		1.6	1.8	
					H23	1.2	1.8		1.6	1.7	
岡山県 604-52	H21			1.5	3.2	2.1	2.1				
	H22			1.5	2.5	1.9	2.1				
	H23			1.3	4.6	2.0	1.9				
岡山県 604-53	H21			1.7	4.3	2.2	2.0				
	H22			1.4	2.8	1.9	2.0				
	H23			1.1	5.0	1.9	1.8				
岡山県 604-54	H21			1.5	2.5	1.9	2.1				
	H22			1.3	2.5	1.8	2.1				
	H23			1.4	2.4	1.8	1.8				

1) 公共用水域水質測定結果より (HP: 水環境情報総合サイト)

2) は環境基準を超過したものを示す。

表 2.1(2) 近年の水質の状況 (COD)

水域名	類型	県及び 地点名	年度	COD				
				最小値	最大値	平均値	75%値	基準値
水島地先海域(乙)	A	岡山県 604-55	H21	1.4	2.4	1.7	1.6	2.0
			H22	1.6	3.7	2.2	1.7	
			H23	1.3	1.7	1.5	1.6	
箕島町地先海域	B	広島県 608-01	H21	1.6	9.7	4.3	5.1	3.0
			H22	1.5	6.8	3.5	4.7	
			H23	1.3	6.5	2.8	2.8	
		広島県 608-02	H21	1.5	5.6	2.4	2.3	
			H22	1.1	4.6	2.3	2.4	
			H23	0.9	4.8	2.0	2.2	
高松港	B	香川県 603-01	H21	1.4	3.2	1.9	2.1	3.0
			H22	1.3	2.3	1.9	2.0	
			H23	1.3	2.9	2.1	2.3	
坂出港	B	香川県 604-01	H21	1.4	3.5	2.2	2.4	3.0
			H22	1.6	3.9	2.3	2.5	
			H23	1.4	3.7	2.3	2.6	
		香川県 604-03	H21	1.5	4.3	2.5	3.1	
			H22	1.5	5.7	2.4	2.6	
			H23	1.4	3.6	2.4	2.9	
番の州泊地	B	香川県 605-01	H21	1.6	3.7	2.3	2.3	3.0
			H22	1.6	3.0	2.2	2.4	
			H23	1.5	3.6	2.4	2.6	
詰田川尻	A	香川県 602-01	H21	1.5	10.0	2.8	3.1	2.0
			H22	1.5	8.0	2.7	2.6	
			H23	1.5	8.0	2.8	3.5	
備讃瀬戸	A	岡山県 610-01	H21	1.3	2.8	2.1	2.4	2.0
			H22	1.5	4.6	2.2	2.3	
			H23	1.3	2.1	1.7	2.0	
		岡山県 610-02	H21	1.5	3.3	2.3	2.4	
			H22	1.4	3.1	2.2	2.4	
			H23	1.4	2.4	1.8	2.0	
		岡山県 610-03	H21	1.3	2.4	1.8	2.0	
			H22	1.1	3.6	1.8	2.0	
			H23	1.0	1.9	1.5	1.6	
		岡山県 610-04	H21	1.2	3.6	1.9	1.9	
			H22	1.4	2.4	1.7	1.9	
			H23	1.0	1.9	1.4	1.6	
		岡山県 610-05	H21	1.3	2.3	1.7	1.8	
			H22	1.1	2.9	1.7	1.9	
			H23	1.0	1.8	1.3	1.3	
		岡山県 610-52	H21	1.1	2.8	1.9	2.0	
			H22	1.5	2.6	2.0	2.1	
			H23	1.4	2.0	1.8	2.0	
岡山県 610-53	H21	1.5	3.5	2.2	2.3			
	H22	1.5	3.5	2.2	2.4			
	H23	1.0	2.5	1.6	1.7			

1) 公共用水域水質測定結果より (HP: 水環境情報総合サイト)

2) は環境基準を超過したものを示す。

表 2.1(3) 近年の水質の状況 (COD)

水域名	類型	県及び 地点名	年度	COD				
				最小値	最大値	平均値	75%値	基準値
備讃瀬戸	A	岡山県 610-54	H21	1.3	2.2	1.7	1.8	2.0
			H22	1.4	2.0	1.6	1.6	
			H23	1.1	2.0	1.4	1.4	
		岡山県 610-55	H21	1.5	2.9	2.2	2.5	
			H22	1.6	5.0	2.5	3.1	
			H23	1.4	2.5	1.9	2.0	
		岡山県 610-56	H21	1.0	2.9	1.9	2.0	
			H22	1.3	2.7	1.8	2.0	
			H23	1.1	2.0	1.6	1.8	
		岡山県 610-57	H21	1.4	2.0	1.7	1.9	
			H22	1.6	2.1	1.8	1.8	
			H23	1.0	1.8	1.4	1.4	
		岡山県 610-58	H21	1.3	3.0	1.9	2.0	
			H22	1.2	2.2	1.8	2.0	
			H23	1.2	1.8	1.6	1.7	
		岡山県 610-59	H21	1.4	2.0	1.7	1.8	
			H22	1.3	2.2	1.7	1.9	
			H23	1.2	2.0	1.4	1.4	
		岡山県 610-60	H21	1.4	2.2	1.7	1.8	
			H22	1.4	2.2	1.7	1.8	
			H23	0.9	1.8	1.3	1.6	
		岡山県 610-61	H21	1.5	2.2	1.8	1.9	
			H22	1.2	2.3	1.7	1.8	
			H23	1.2	2.1	1.4	1.4	
		岡山県 610-62	H21	1.3	2.5	1.8	1.9	
			H22	1.1	2.7	1.8	2.6	
			H23	1.4	1.9	1.7	1.7	
		岡山県 610-63	H21	1.3	2.8	1.8	1.9	
			H22	1.3	2.2	1.7	1.8	
			H23	1.2	1.9	1.5	1.8	
		岡山県 610-64	H21	1.5	2.4	1.8	1.9	
			H22	1.2	2.2	1.6	1.7	
			H23	1.1	1.8	1.5	1.6	
		広島県 609-01	H21	1.1	2.5	1.8	2.0	
			H22	1.2	2.8	1.8	1.8	
			H23	0.7	2.6	1.7	1.7	
		広島県 609-51	H21	1.4	3.7	2.1	2.4	
			H22	1.2	3.1	2.0	2.2	
			H23	1.0	3.1	1.7	1.8	
		広島県 609-52	H21	1.7	4.0	2.4	2.6	
			H22	1.2	4.1	2.4	2.8	
			H23	1.1	4.1	1.9	2.2	
香川県 601-03	H21	1.1	2.3	1.8	2.1			
	H22	1.2	2.3	1.7	1.8			
	H23	1.4	3.0	2.1	2.4			

1) 公共用水域水質測定結果より (HP: 水環境情報総合サイト)

2) は環境基準を超過したものを示す。

表 2.1(4) 近年の水質の状況 (COD)

水域名	類型	県及び 地点名	年度	COD				
				最小値	最大値	平均値	75%値	基準値
備讃瀬戸	A	香川県 601-04	H21	1.1	2.4	1.7	1.8	2.0
			H22	1.4	2.3	1.8	2.0	
			H23	1.3	2.7	2.0	2.1	
		香川県 601-05	H21	1.2	2.7	1.8	1.8	
			H22	1.2	2.4	1.8	1.9	
			H23	1.3	2.4	1.9	1.9	
		香川県 601-06	H21	1.3	2.6	1.8	1.9	
			H22	1.3	2.3	1.8	1.9	
			H23	1.3	2.3	1.9	2.1	
		香川県 601-07	H21	1.3	2.4	1.8	1.9	
			H22	1.3	2.6	1.9	2.2	
			H23	1.4	2.4	1.9	2.1	
		香川県 601-08	H21	1.4	2.4	1.8	1.9	
			H22	1.3	2.5	2.0	2.2	
			H23	1.3	2.9	1.9	2.0	
		香川県 601-55	H21	1.4	2.3	1.8	2.0	
			H22	1.3	2.3	1.9	2.2	
			H23	1.6	2.5	2.1	2.3	
		香川県 601-56	H21	1.4	2.0	1.7	2.0	
			H22	1.5	2.1	1.9	2.0	
			H23	1.4	2.4	1.9	2.0	

- 1) 公共用水域水質測定結果より (HP:水環境情報総合サイト)
- 2) は環境基準を超過したものを示す。

表 2.1(5) 近年の水質の状況 (全窒素、全磷)

水域名	類型	県及び地点名	年度	全窒素				全磷							
				最小値	最大値	平均値	基準値	最小値	最大値	平均値	基準値				
箕島町地先海域		広島県608-01	H21	0.46	3.70	1.50	1.0	0.030	0.130	0.058	0.09				
			H22	0.33	3.60	1.40		0.023	0.067	0.046					
			H23	1.00	2.50	1.40		0.028	0.110	0.050					
		広島県608-02	H21	0.10	2.30	0.85		0.014	0.120	0.046					
			H22	0.11	32.00	1.10		0.011	0.077	0.045					
			H23	0.08	2.80	1.10		0.014	0.093	0.050					
水島港区		岡山県601-01	H21	0.09	0.30	0.18	0.6	0.019	0.050	0.032	0.05				
			H22	0.11	0.53	0.27		<0.003	0.037	0.023					
			H23	0.18	0.79	0.38		0.011	0.051	0.030					
		岡山県601-51	H21	1.20	1.80	1.40		0.041	0.072	0.056					
			H22	0.49	2.50	1.50		0.037	0.088	0.058					
			H23	0.99	2.80	1.50		0.026	0.089	0.065					
水島地先海域		岡山県603-01	H21	0.11	0.20	0.15	0.3	0.017	0.049	0.029	0.03				
			H22	<0.05	0.63	0.21		<0.003	0.100	0.032					
			H23	0.13	0.55	0.30		0.003	0.054	0.029					
		岡山県603-02	H21	0.09	0.23	0.16		0.013	0.049	0.027					
			H22	0.09	0.37	0.21		<0.003	0.039	0.025					
			H23	0.13	0.66	0.32		0.012	0.054	0.031					
		岡山県603-03	H21	0.06	0.33	0.16		0.011	0.063	0.027					
			H22	0.05	0.32	0.16		<0.003	0.037	0.021					
			H23	0.12	0.46	0.24		0.009	0.049	0.029					
		岡山県603-52	H21	0.10	0.20	0.15		0.016	0.029	0.023					
			H22	<0.05	0.34	0.21		0.009	0.050	0.031					
			H23	0.13	0.55	0.30		0.004	0.056	0.029					
		岡山県603-54	H21	0.11	0.26	0.17		0.019	0.036	0.028					
			H22	0.11	0.96	0.40		0.006	0.100	0.047					
			H23	0.14	0.59	0.35		0.009	0.062	0.037					
		備讃瀬戸(イ)		岡山県610-04	H21	0.07		0.19	0.13	0.3		0.009	0.053	0.027	0.03
					H22	0.06		0.23	0.12			0.019	0.030	0.024	
					H23	0.09		0.47	0.22			0.008	0.051	0.026	
岡山県610-05	H21			0.13	0.21	0.17	0.016	0.034	0.023						
	H22			0.14	0.24	0.17	0.016	0.037	0.025						
	H23			0.07	0.30	0.15	0.010	0.042	0.024						
岡山県610-58	H21			0.08	0.17	0.12	0.018	0.025	0.021						
	H22			0.05	0.24	0.12	0.018	0.033	0.026						
	H23			0.10	0.45	0.22	0.003	0.048	0.023						
香川県601-03	H21			0.16	0.47	0.25	0.015	0.058	0.029						
	H22			0.15	0.31	0.22	0.011	0.053	0.028						
	H23			0.15	0.58	0.33	0.012	0.094	0.035						
香川県601-04	H21			0.18	0.34	0.24	0.013	0.043	0.023						
	H22			0.13	0.27	0.21	0.011	0.053	0.026						
	H23			0.16	0.53	0.28	0.008	0.052	0.028						
香川県601-05	H21			0.18	0.32	0.23	0.017	0.032	0.022						
	H22			0.12	0.28	0.20	0.012	0.046	0.023						
	H23			0.14	0.41	0.25	0.008	0.055	0.026						

1) 公共用水域水質測定結果より (HP: 水環境情報総合サイト)

2) は環境基準を超過したものを示す。

表 2.1(6) 近年の水質の状況 (全窒素、全磷)

水域名	類型	県及び地点名	年度	全窒素				全磷							
				最小値	最大値	平均値	基準値	最小値	最大値	平均値	基準値				
備讃瀬戸(イ)		香川県601-56	H21	0.19	0.33	0.25	0.3	0.016	0.032	0.024	0.03				
			H22	0.12	0.29	0.21		0.008	0.046	0.021					
			H23	0.15	0.42	0.25		0.011	0.053	0.026					
		香川県602-01	H21	0.20	2.50	0.73		0.020	0.410	0.120					
			H22	0.15	1.50	0.55		0.019	0.430	0.100					
			H23	0.16	2.20	0.67		0.016	0.310	0.098					
		香川県603-01	H21	0.19	0.38	0.27		0.009	0.043	0.029					
			H22	0.14	0.34	0.24		0.009	0.056	0.027					
			H23	0.15	0.45	0.26		0.011	0.058	0.031					
		香川県604-01	H21	0.20	0.45	0.33		0.010	0.036	0.023					
			H22	0.17	0.45	0.30		0.011	0.043	0.026					
			H23	0.16	0.87	0.34		0.010	0.064	0.028					
		香川県604-03	H21	0.17	0.64	0.33		0.014	0.120	0.034					
			H22	0.14	0.79	0.29		0.011	0.090	0.032					
			H23	0.18	0.67	0.30		0.014	0.063	0.028					
		香川県605-01	H21	0.53	6.60	2.30		0.013	0.039	0.026					
			H22	0.49	2.80	1.30		0.006	0.048	0.026					
			H23	0.60	3.40	1.70		0.012	0.059	0.031					
		備讃瀬戸(ロ)		岡山県604-01	H21	0.06		0.28	0.14	0.3		0.005	0.049	0.026	0.03
					H22	<0.05		0.31	0.16			0.011	0.029	0.022	
					H23	0.08		0.44	0.22			0.008	0.046	0.026	
				岡山県604-53	H21	0.08		0.19	0.13			0.018	0.024	0.022	
					H22	0.07		0.31	0.18			0.020	0.029	0.025	
					H23	0.08		0.41	0.21			0.016	0.044	0.026	
岡山県610-01	H21			0.13	0.23	0.19	0.015	0.033	0.024						
	H22			0.13	0.30	0.20	0.016	0.039	0.025						
	H23			0.13	0.58	0.22	0.018	0.043	0.025						
岡山県610-02	H21			0.13	0.25	0.19	0.018	0.038	0.028						
	H22			0.13	0.26	0.21	0.013	0.044	0.027						
	H23			0.10	0.43	0.21	0.015	0.048	0.027						
岡山県610-03	H21			0.12	0.18	0.15	0.015	0.025	0.021						
	H22			0.12	0.27	0.17	0.008	0.029	0.020						
	H23			0.06	0.32	0.14	0.012	0.032	0.021						
広島県609-01	H21			0.05	0.21	0.12	0.010	0.026	0.015						
	H22			<0.05	0.17	0.12	0.006	0.025	0.014						
	H23			0.04	0.32	0.16	0.010	0.037	0.020						
広島県609-51	H21			0.07	0.59	0.26	0.010	0.038	0.021						
	H22			0.05	0.46	0.21	0.011	0.033	0.019						
	H23			0.06	0.63	0.28	0.012	0.049	0.027						
広島県609-52	H21			0.10	0.47	0.23	0.013	0.045	0.025						
	H22			0.08	0.35	0.22	0.011	0.048	0.024						
	H23			0.11	0.52	0.31	0.019	0.053	0.032						

1) 公共用水域水質測定結果より (HP: 水環境情報総合サイト)

2) は環境基準を超過したものを示す。

表 2.1(7) 近年の水質の状況（全窒素、全磷）

水域名	類型	県及び地点名	年度	全窒素				全磷			
				最小値	最大値	平均値	基準値	最小値	最大値	平均値	基準値
備讃瀬戸(八)		香川県601-06	H21	0.17	0.46	0.27	0.3	0.017	0.036	0.024	0.03
			H22	0.14	0.47	0.26		0.012	0.045	0.025	
			H23	0.13	0.44	0.24		0.011	0.056	0.027	
		香川県601-07	H21	0.17	0.37	0.24		0.012	0.034	0.021	
			H22	0.10	0.29	0.21		0.013	0.043	0.024	
			H23	0.13	0.41	0.23		0.012	0.046	0.026	
		香川県601-08	H21	0.17	0.46	0.27		0.014	0.035	0.019	
			H22	0.13	0.39	0.23		0.010	0.036	0.020	
			H23	0.16	0.34	0.21		0.011	0.040	0.021	
		香川県601-55	H21	0.16	0.27	0.22		0.012	0.033	0.022	
			H22	0.15	0.29	0.21		0.010	0.045	0.027	
			H23	0.14	0.60	0.26		0.013	0.046	0.026	

1) 公共用水域水質測定結果より（HP:水環境情報総合サイト）

2) は環境基準を超過したものを示す。

表 2.1(8) 近年の水質の状況（全亜鉛）

水域名	県及び地点名	年度	全亜鉛		
			最小値	最大値	平均値
水島港区	岡山県601-01	H21	<0.001	0.004	0.002
		H22	<0.001	0.004	0.002
		H23	0.001	0.006	0.003
水島地先海域(甲)	岡山県603-01	H21	<0.001	0.005	0.001
		H22	<0.001	0.002	0.001
		H23	<0.001	0.003	0.002
	岡山県603-02	H21	<0.001	0.003	0.001
		H22	<0.001	0.002	0.001
		H23	<0.001	0.006	0.002
	岡山県603-03	H21	<0.001	0.002	0.001
		H22	<0.001	0.003	0.001
		H23	<0.001	0.002	0.001
水島地先海域(乙)	岡山県604-01	H21	<0.001	0.003	0.001
		H22	<0.001	0.001	0.001
		H23	<0.001	0.004	0.001
	岡山県610-01	H21	<0.001	0.001	0.001
		H22	<0.001	0.001	0.001
		H23	<0.001	0.002	0.001
箕島町地先海域	広島県608-01	H21			
		H22	0.001	0.005	
		H23	0.001	0.003	0.002
	広島県608-02	H21			
		H22	0.001	0.004	
		H23	<0.001	0.003	0.002
備讃瀬戸	岡山県610-02	H21	<0.001	0.002	0.001
		H22	<0.001	0.002	0.001
		H23	<0.001	0.004	0.002
	岡山県610-03	H21	<0.001	0.001	0.001
		H22	<0.001	<0.001	<0.001
		H23	<0.001	0.003	0.001
	岡山県610-04	H21	<0.001	0.001	0.001
		H22	<0.001	<0.001	<0.001
		H23	<0.001	0.002	0.001
	岡山県610-05	H21	<0.001	0.003	0.001
		H22	<0.001	0.002	0.001
		H23	<0.001	0.006	0.003
	広島県609-01	H21			
		H22	<0.001	0.002	
		H23	<0.001	0.001	0.001

1) 公共用水域水質測定結果より（HP:水環境情報総合サイト）

2) 水生生物保全環境基準について

類型	水生生物生息状況の適応性	基準値（全亜鉛）
生物 A	水生生物の生息する水域	0.02mg/L 以下
生物特 A	生物 A の水域のうち、水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.01mg/L 以下

3) 全亜鉛について、0.01mg/L 以下（無色） 、 0.01mg/L 超過 0.02mg/L 以下（青色） 、 0.02mg/L 超過（赤色）で示した。



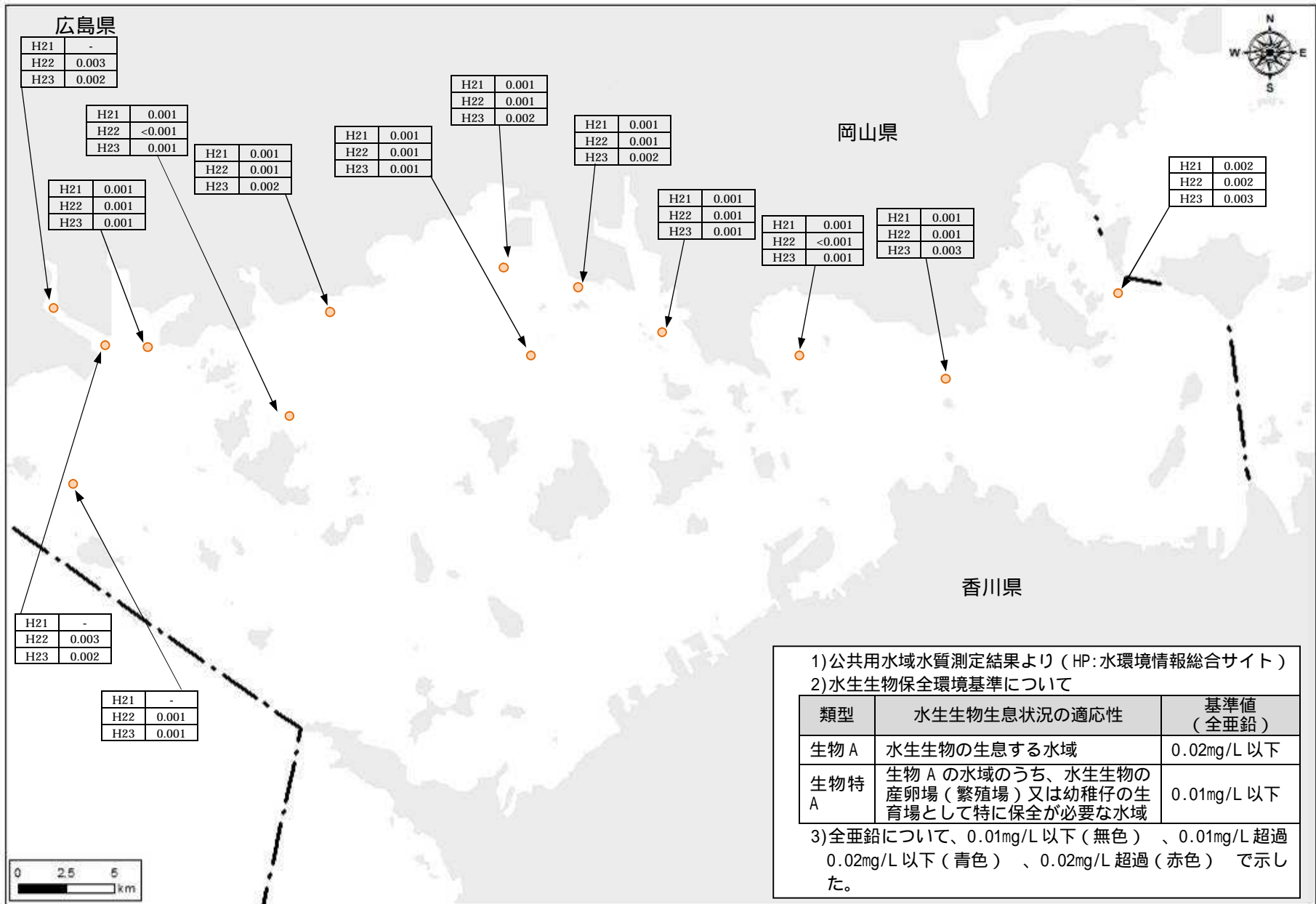


図 2.2(1) 全亜鉛の濃度分布 (年平均値)

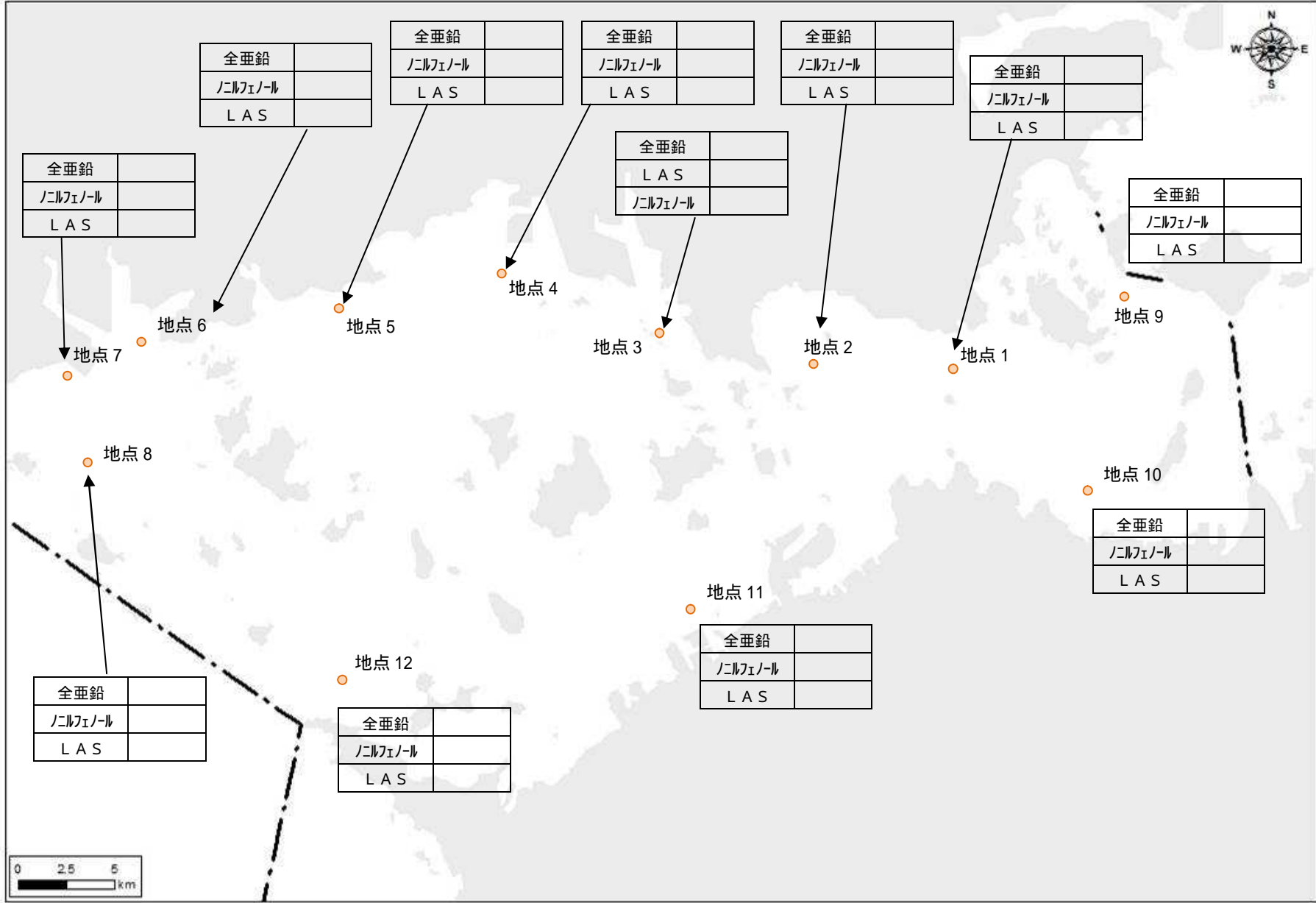
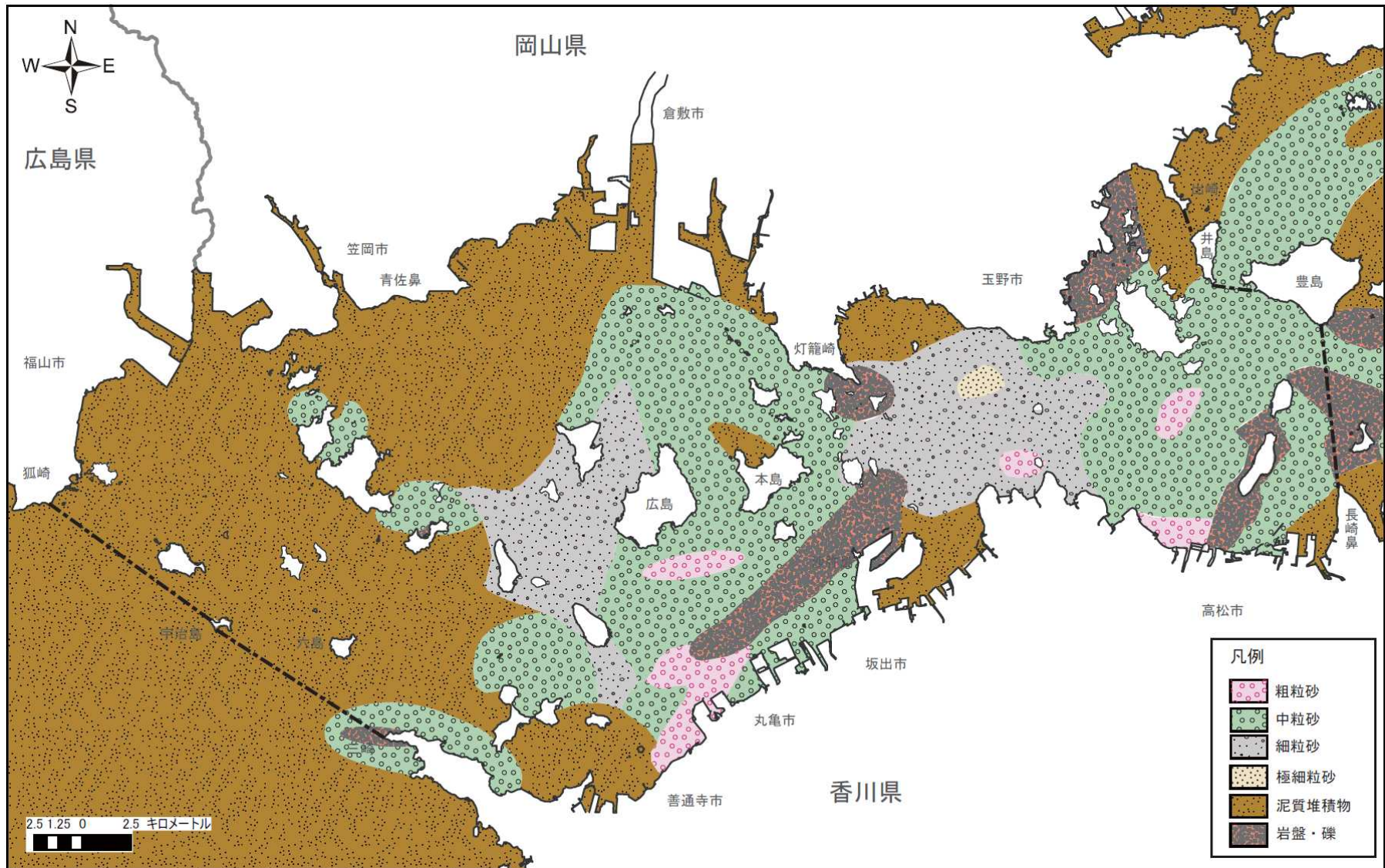


図 2.2(2) 水生生物保全環境基準項目の濃度分布 (平成 25 年度調査結果速報)

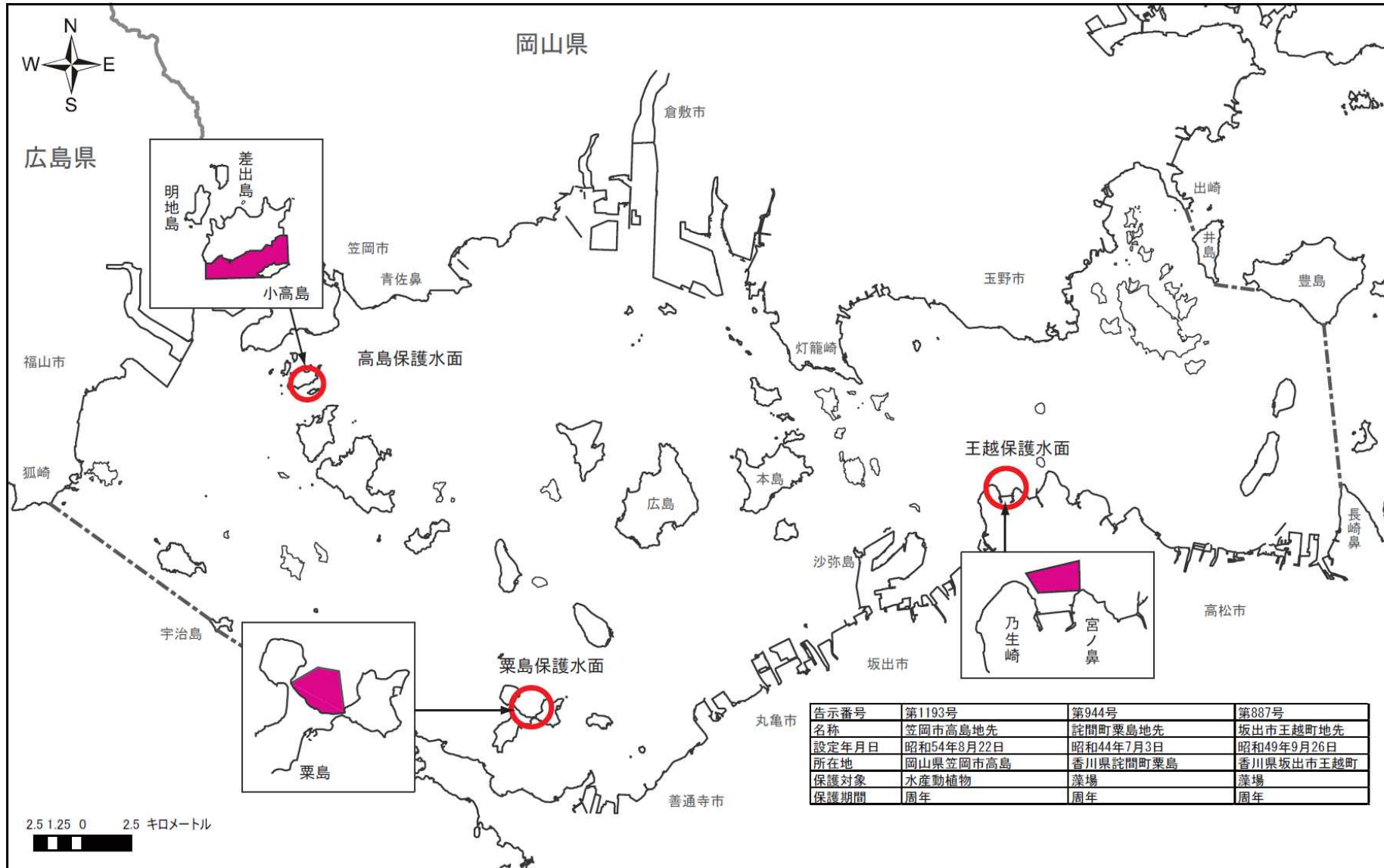


出典：「瀬戸内海における海砂利採取とその環境への影響」(平成14年3月)から作成

注) 極粗粒砂：2~1mm、粗粒砂：1~1/2mm、中粒砂：1/2~1/4mm、細粒砂：1/4~1/8mm

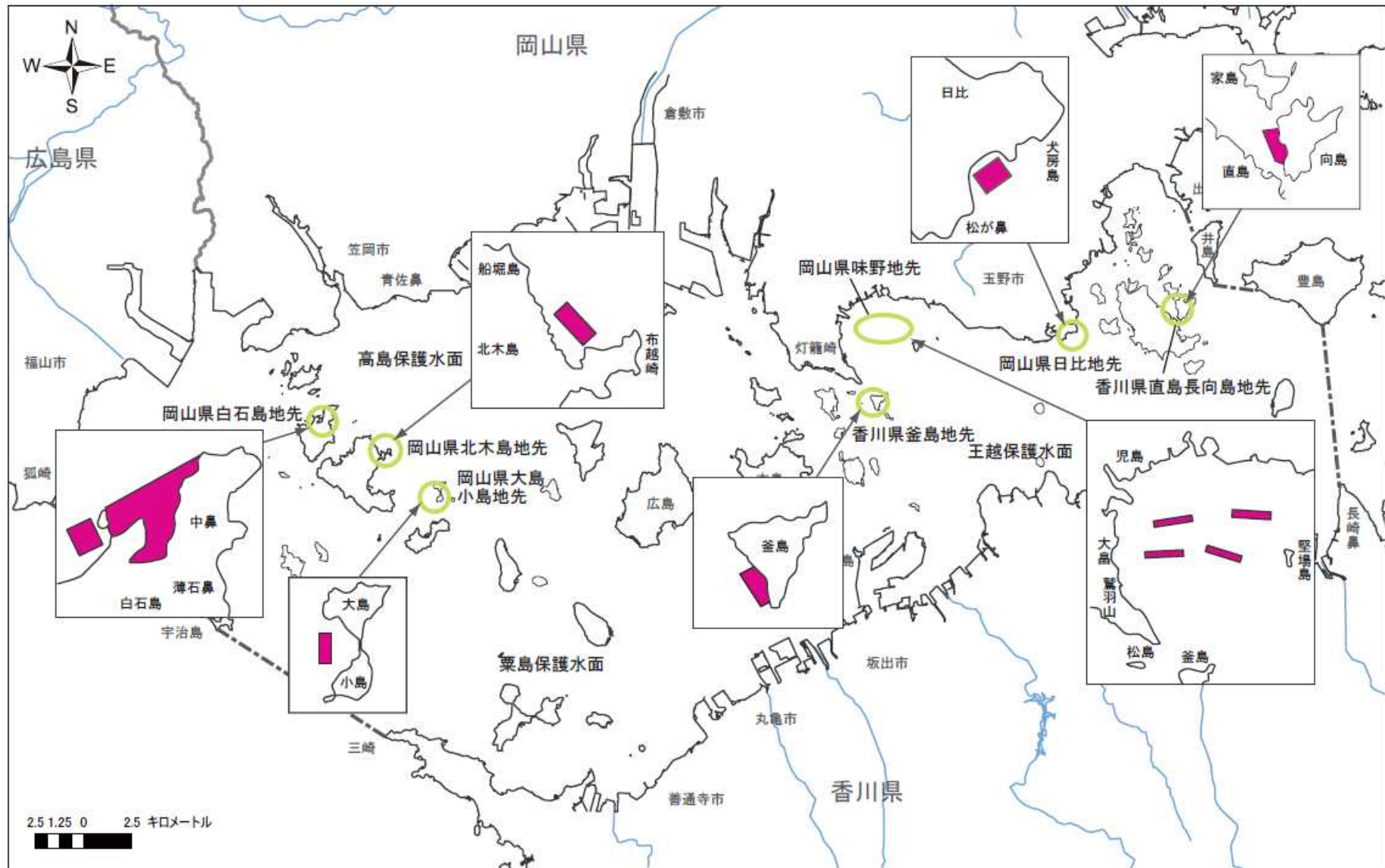
図 2.3 底質の分布状況





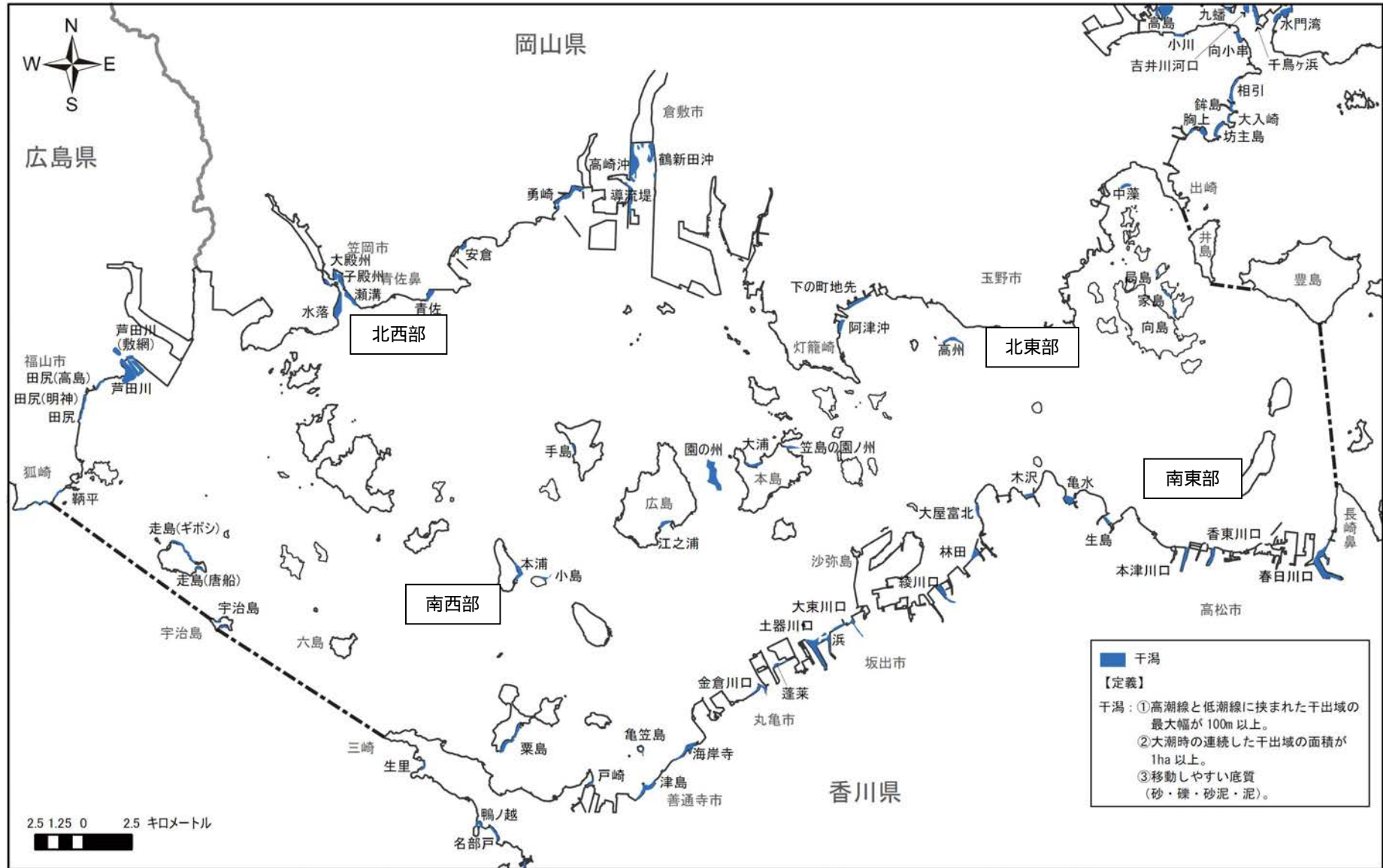
出典：水産庁資料、保護水面管理事業調査報告書（岡山県，平成16年3月）、香川県水産試験場事業報告（平成18年度）

図2.4(1) 水産資源保護法に基づく保護水面



出典：岡山県資料

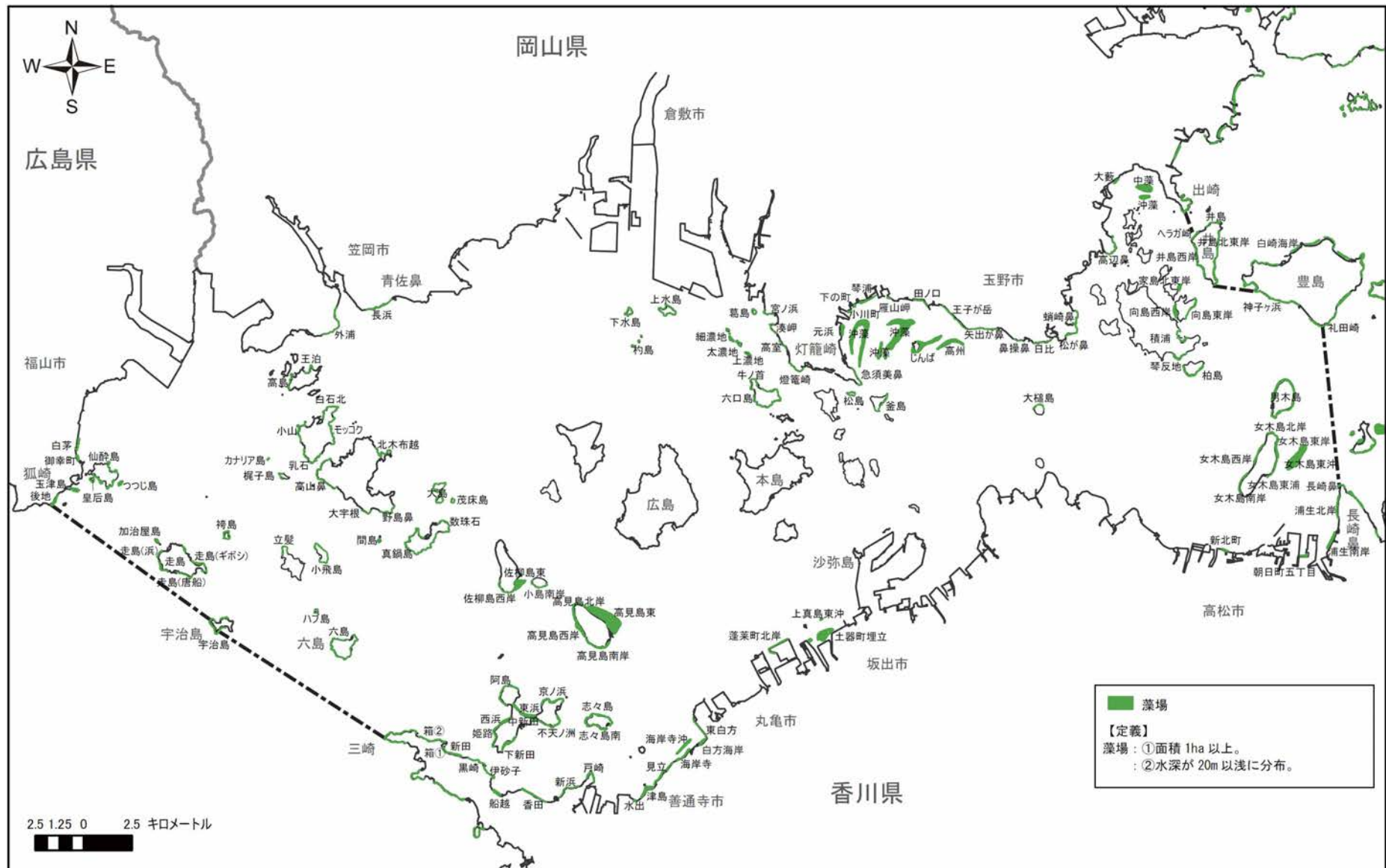
図 2.4(2) 規則・条例等に基づく保護水面



出典：環境省（第5回自然環境保全基礎調査 平成9～13年度）

図 2.5 主要な干潟の分布状況





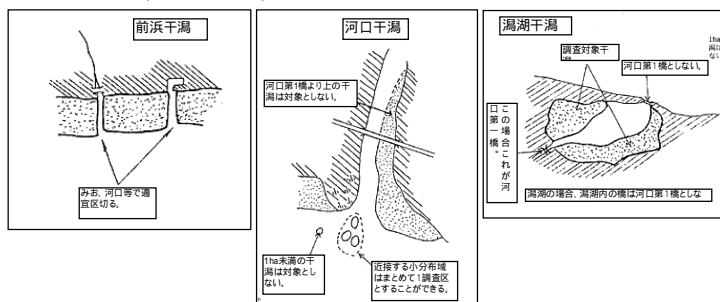
出典：環境省（第 5 回自然環境保全基礎調査 平成 9～13 年度）

図 2.6 主要な藻場の分布状況

表 2.2 主要な干潟の概要

対象海域 名称	都道府県	干潟名称	干潟タイプ					底質				面積 (ha)	
			前浜	河口	潟湖	人工 干潟	その他	礫	砂	砂泥	泥		
備讃瀬戸	岡山県	瀬溝											10.0
備讃瀬戸	岡山県	子殿州											11.0
備讃瀬戸	岡山県	大殿州											6.0
備讃瀬戸	岡山県	瀬戸											5.0
備讃瀬戸	岡山県	水落											130.0
備讃瀬戸	岡山県	高州											14.0
備讃瀬戸	岡山県	下の町地先											12.0
備讃瀬戸	岡山県	阿津沖											7.0
備讃瀬戸	岡山県	鶴新田沖											25.0
備讃瀬戸	岡山県	鶴新田沖											2.0
備讃瀬戸	岡山県	高崎沖											53.0
備讃瀬戸	岡山県	漣流堤											20.0
備讃瀬戸	岡山県	勇崎											21.0
備讃瀬戸	岡山県	安倉											5.0
備讃瀬戸	岡山県	青佐											8.0
備讃瀬戸	広島県	宇治島											1.0
備讃瀬戸	広島県	宇治島											1.0
備讃瀬戸	広島県	走島(唐船)											1.0
備讃瀬戸	広島県	走島(キボシ)											7.0
備讃瀬戸	広島県	芦田川											14.0
備讃瀬戸	広島県	芦田川											13.0
備讃瀬戸	広島県	芦田川(敷網)											4.0
備讃瀬戸	広島県	芦田川(敷網)											48.0
備讃瀬戸	広島県	芦田川											12.0
備讃瀬戸	広島県	田尻(高島)											3.0
備讃瀬戸	広島県	田尻(明神)											3.0
備讃瀬戸	広島県	田尻											2.0
備讃瀬戸	広島県	鞆平											2.0
備讃瀬戸	香川県	戸崎											3.7
備讃瀬戸	香川県	津島											21.4
備讃瀬戸	香川県	粟島											22.4
備讃瀬戸	香川県	亀笠島											1.9
備讃瀬戸	香川県	海岸寺											20.8
備讃瀬戸	香川県	本浦											12.6
備讃瀬戸	香川県	金倉川口											13.2
備讃瀬戸	香川県	蓬菜											5.0
備讃瀬戸	香川県	土器川口											55.5
備讃瀬戸	香川県	浜											8.2
備讃瀬戸	香川県	大束川口											9.5
備讃瀬戸	香川県	綾川口											23.2
備讃瀬戸	香川県	小島											6.3
備讃瀬戸	香川県	手島											5.0
備讃瀬戸	香川県	江ノ浦											8.2
備讃瀬戸	香川県	團の州											51.7
備讃瀬戸	香川県	大浦											8.8
備讃瀬戸	香川県	(笠島の)團ノ州											7.6
備讃瀬戸	香川県	林田											15.8
備讃瀬戸	香川県	大屋富北											5.0
備讃瀬戸	香川県	木沢											4.4
備讃瀬戸	香川県	龜水											17.0
備讃瀬戸	香川県	生島											8.8
備讃瀬戸	香川県	家島											6.3
備讃瀬戸	香川県	局島											1.9
備讃瀬戸	香川県	本津川口											14.5
備讃瀬戸	香川県	香東川口											13.9
備讃瀬戸	香川県	春日川口											75.6
備讃瀬戸	香川県	向島											5.0
合計													893.2

注1) 対象干潟：高潮線と低潮線に挟まれた干出域の最大幅が100m以上であること。  
 ・大潮時の連続した干出域の面積が1ha以上であること。  
 ・移動しやすい底質(砂、礫、砂泥、泥)であること。  
 注2) 干潟タイプ：下図のとおり前浜干潟、河口干潟、潟湖干潟及びその他(人工干潟等)に分類される。  
 注3) 調査区設定方法  
 現在干潟の調査区設定・面積等の把握の際には、原則同タイプの干潟が連続的に分布する範囲(分布域)を1調査区とする。ただし、分布域が長大な場合は河口、みお、航路、岬角等の地形で適宜区分することができる。各タイプの調査区設定は区分基準(下図のカッコ内)に準ずる。



注4) 底質： 礫：粒径2mm以上  
 砂：0.1 - 2mm  
 泥：0.1mm以下  
 砂泥：砂と泥の混合

出典：環境省 (第5回自然環境保全基礎調査 平成9~13年度)



表 2.3(1) 主要な藻場の概要

対象海域 名称	都道府県	藻場名称	藻場タイプ								疎密度	面積 (ha)	
			アマモ 場	ガラモ 場	コンブ 場	アラメ 場	ワカメ 場	テング サ場	アオ サ・ア オノリ 場	その 他			不明
備讃瀬戸	岡山県	外浦										密生	2.0
備讃瀬戸	岡山県	王泊										疎生	3.0
備讃瀬戸	岡山県	高島										疎生	2.0
備讃瀬戸	岡山県	白石北										密生	2.0
備讃瀬戸	岡山県	モッコク										密生	4.0
備讃瀬戸	岡山県	小山										密生	2.0
備讃瀬戸	岡山県	乳石										密生	4.0
備讃瀬戸	岡山県	高山鼻										密生	3.0
備讃瀬戸	岡山県	大宇根										密生	1.0
備讃瀬戸	岡山県	小飛島										密生	7.0
備讃瀬戸	岡山県	立髪										密生	1.0
備讃瀬戸	岡山県	ハブ島										濃生	2.0
備讃瀬戸	岡山県	六島										密生	4.0
備讃瀬戸	岡山県	カナリア島										濃生	1.0
備讃瀬戸	岡山県	梶子島										濃生	1.0
備讃瀬戸	岡山県	王子が岳										濃生	3.0
備讃瀬戸	岡山県	田ノ口										密生	9.0
備讃瀬戸	岡山県	雁山岬										濃生	2.0
備讃瀬戸	岡山県	琴浦										疎生	12.0
備讃瀬戸	岡山県	下の町										濃生	3.0
備讃瀬戸	岡山県	小川町										密生	5.0
備讃瀬戸	岡山県	高州										密生	52.0
備讃瀬戸	岡山県	じんば										密生	32.0
備讃瀬戸	岡山県	沖藻										密生	98.0
備讃瀬戸	岡山県	沖藻										密生	18.0
備讃瀬戸	岡山県	沖藻										密生	73.0
備讃瀬戸	岡山県	元浜										濃生	14.0
備讃瀬戸	岡山県	急須美鼻										密生	3.0
備讃瀬戸	岡山県	釜島										密生	7.0
備讃瀬戸	岡山県	釜島										密生	11.0
備讃瀬戸	岡山県	釜島										密生	4.0
備讃瀬戸	岡山県	松島										密生	3.0
備讃瀬戸	岡山県	燈籠崎										濃生	2.0
備讃瀬戸	岡山県	高室										密生	1.0
備讃瀬戸	岡山県	湊岬										密生	1.0
備讃瀬戸	岡山県	宮ノ浜										密生	1.0
備讃瀬戸	岡山県	葛島										密生	1.0
備讃瀬戸	岡山県	上濃地										濃生	2.0
備讃瀬戸	岡山県	太濃地										濃生	2.0
備讃瀬戸	岡山県	細濃地										濃生	4.0
備讃瀬戸	岡山県	六口島										密生	6.0
備讃瀬戸	岡山県	牛ノ首										密生	2.0
備讃瀬戸	岡山県	上水島										密生	7.0
備讃瀬戸	岡山県	下水島										密生	6.0
備讃瀬戸	岡山県	杓島										密生	1.0
備讃瀬戸	岡山県	長浜										疎生	3.0
備讃瀬戸	岡山県	北木布越										濃生	5.0
備讃瀬戸	岡山県	野島鼻										密生	2.0
備讃瀬戸	岡山県	大島										濃生	7.0
備讃瀬戸	岡山県	茂床島										濃生	1.0
備讃瀬戸	岡山県	数珠石										濃生	3.0
備讃瀬戸	岡山県	真鍋島										濃生	9.0
備讃瀬戸	岡山県	間島										濃生	2.0
備讃瀬戸	岡山県	ヘラガ崎										密生	1.0
備讃瀬戸	岡山県	中藻										疎生	80.0
備讃瀬戸	岡山県	沖藻										濃生	26.0
備讃瀬戸	岡山県	大敷										疎生	7.0
備讃瀬戸	岡山県	高辺鼻										疎生	2.0
備讃瀬戸	岡山県	蛸崎鼻										密生	3.0
備讃瀬戸	岡山県	松が鼻										密生	8.0

表 2.3(2) 主要な藻場の概要

対象海域名称	都道府県	藻場名称	藻場タイプ									疎密度	面積 (ha)	
			アマモ場	ガラモ場	コンブ場	アラメ場	ワカメ場	テングサ場	アオサ・アオリ場	その他	不明			
備讃瀬戸	岡山県	日比											密生	1.0
備讃瀬戸	岡山県	鼻操鼻											密生	1.0
備讃瀬戸	岡山県	矢出が鼻											不明	10.0
備讃瀬戸	岡山県	大槌島											濃生	5.0
備讃瀬戸	広島県	袴島											濃生	1.0
備讃瀬戸	広島県	袴島											濃生	1.6
備讃瀬戸	広島県	白茅											疎生	1.6
備讃瀬戸	広島県	御幸町											疎生	1.4
備讃瀬戸	広島県	仙酔島											密生	2.4
備讃瀬戸	広島県	仙酔島											濃生	1.2
備讃瀬戸	広島県	仙酔島											濃生	1.9
備讃瀬戸	広島県	つつじ島											濃生	1.1
備讃瀬戸	広島県	皇后島											密生	1.0
備讃瀬戸	広島県	玉津島											密生	3.0
備讃瀬戸	広島県	加治屋島											密生	1.8
備讃瀬戸	広島県	走島(浜)											濃生	2.0
備讃瀬戸	広島県	走島											濃生	3.9
備讃瀬戸	広島県	走島											濃生	2.6
備讃瀬戸	広島県	走島(唐船)											濃生	1.0
備讃瀬戸	広島県	走島											密生	1.0
備讃瀬戸	広島県	走島(唐船)											密生	1.8
備讃瀬戸	広島県	走島(ギボシ)											疎生	1.0
備讃瀬戸	広島県	走島(ギボシ)											密生	1.2
備讃瀬戸	広島県	宇治島											濃生	1.4
備讃瀬戸	広島県	宇治島											疎生	1.1
備讃瀬戸	広島県	宇治島											濃生	4.2
備讃瀬戸	広島県	後地											疎生	3.0
備讃瀬戸	香川県	黒崎											疎生	2.2
備讃瀬戸	香川県	伊砂子											疎生	2.0
備讃瀬戸	香川県	船越											疎生	1.2
備讃瀬戸	香川県	香田											疎生	3.0
備讃瀬戸	香川県	新浜											疎生	2.2
備讃瀬戸	香川県	戸崎											疎生	1.5
備讃瀬戸	香川県	水出											疎生	1.0
備讃瀬戸	香川県	津島											疎生	6.0
備讃瀬戸	香川県	見立											濃生	6.4
備讃瀬戸	香川県	箱											密生	3.0
備讃瀬戸	香川県	箱											疎生	2.0
備讃瀬戸	香川県	新田											疎生	1.8
備讃瀬戸	香川県	姫路											密生	1.4
備讃瀬戸	香川県	西浜											密生	1.5
備讃瀬戸	香川県	阿島											密生	2.0
備讃瀬戸	香川県	佐柳島西岸											密生	7.6
備讃瀬戸	香川県	東浜											密生	6.0
備讃瀬戸	香川県	京ノ浜											密生	1.4
備讃瀬戸	香川県	不天ノ洲											密生	1.8
備讃瀬戸	香川県	中新田											密生	1.0
備讃瀬戸	香川県	下新田											密生	2.5
備讃瀬戸	香川県	佐柳島東											密生	112.0
備讃瀬戸	香川県	小島南岸											密生	2.0
備讃瀬戸	香川県	高見島西岸											疎生	1.0
備讃瀬戸	香川県	高見島北岸											濃生	3.0
備讃瀬戸	香川県	高見島東											濃生	117.6
備讃瀬戸	香川県	高見島南岸											密生	2.1
備讃瀬戸	香川県	志々島											密生	2.2
備讃瀬戸	香川県	志々島南											濃生	1.1
備讃瀬戸	香川県	海岸寺											濃生	6.0
備讃瀬戸	香川県	海岸寺沖											疎生	5.0
備讃瀬戸	香川県	白方海岸											濃生	1.0
備讃瀬戸	香川県	東白方											密生	1.3

表 2.3(3) 主要な藻場の概要

対象海域名称	都道府県	藻場名称	藻場タイプ								疎密度	面積 (ha)	
			アマモ場	ガラモ場	コンブ場	アラメ場	ワカメ場	テングサ場	アオサ・アオリ場	その他			不明
備讃瀬戸	香川県	蓬萊町北岸										疎生	2.6
備讃瀬戸	香川県	富士見町東沖										濃生	3.0
備讃瀬戸	香川県	土器町埋立										密生	40.0
備讃瀬戸	香川県	上真島東沖										疎生	3.2
備讃瀬戸	香川県	新北町										疎生	2.0
備讃瀬戸	香川県	朝日町五丁目										疎生	1.0
備讃瀬戸	香川県	浦生南岸										密生	8.0
備讃瀬戸	香川県	浦生北岸										濃生	1.5
備讃瀬戸	香川県	長崎鼻										濃生	1.2
備讃瀬戸	香川県	女木島南岸										濃生	3.0
備讃瀬戸	香川県	女木島西岸										濃生	1.0
備讃瀬戸	香川県	女木島北岸										濃生	1.4
備讃瀬戸	香川県	女木島東岸										濃生	6.0
備讃瀬戸	香川県	女木島東浦										密生	1.5
備讃瀬戸	香川県	女木島東沖										密生	70.0
備讃瀬戸	香川県	男木島										濃生	2.3
備讃瀬戸	香川県	積浦										密生	1.5
備讃瀬戸	香川県	琴反地										密生	1.0
備讃瀬戸	香川県	柏島										密生	2.0
備讃瀬戸	香川県	向島西岸										疎生	10.0
備讃瀬戸	香川県	向島東岸										密生	1.1
備讃瀬戸	香川県	家島北東岸										疎生	1.0
備讃瀬戸	香川県	井島西岸										疎生	4.4
備讃瀬戸	香川県	井島北東岸										密生	2.1
備讃瀬戸	香川県	神子ヶ浜										疎生	1.4
備讃瀬戸	香川県	礼田崎										密生	2.2
合計													1,128.4

注1) 対象藻場 ・面積が1ha以上であること。  
 ・水深が10m以浅に分布すること。

注2) 藻場タイプ アマモ場: アマモ、コアマモ等が代表種(優占種)となっている藻場。  
 ガラモ場: ホンダワラ類・ウミトラノオ等が代表種(優占種)となっている藻場。  
 アラメ場: アラメ・カジメ・クロメ等が代表種(優占種)となっている藻場。  
 ワカメ場: ワカメ・ヒロメ等が代表種(優占種)となっている藻場。

注3) 疎密度: 濃生: 海底面がほとんど植生で覆われている。  
 密生: 海底面より植生の方が多い。  
 疎生: 植生より海底面の方が多い。

出典: 環境省 (第5回自然環境保全基礎調査 平成9~13年度)

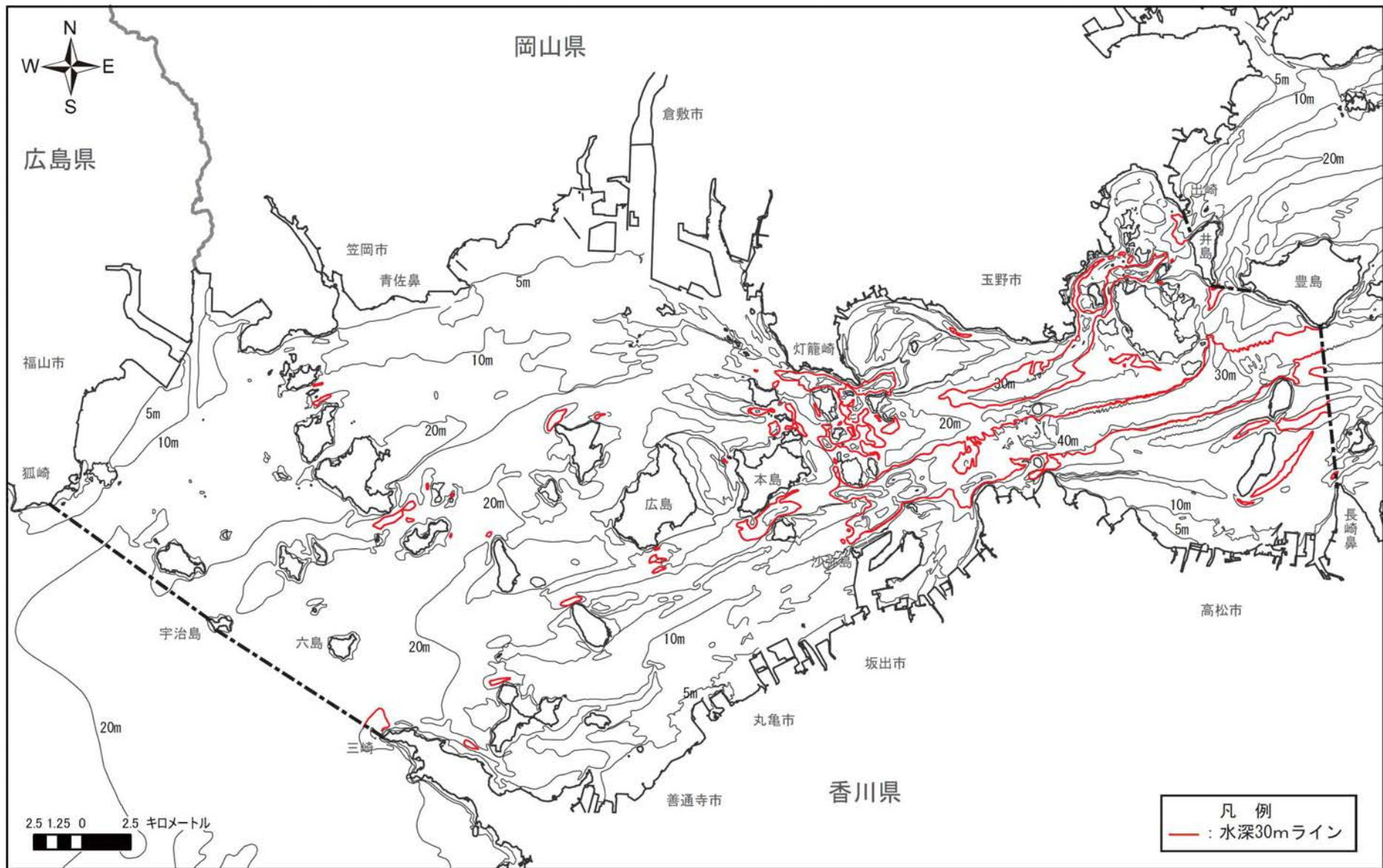
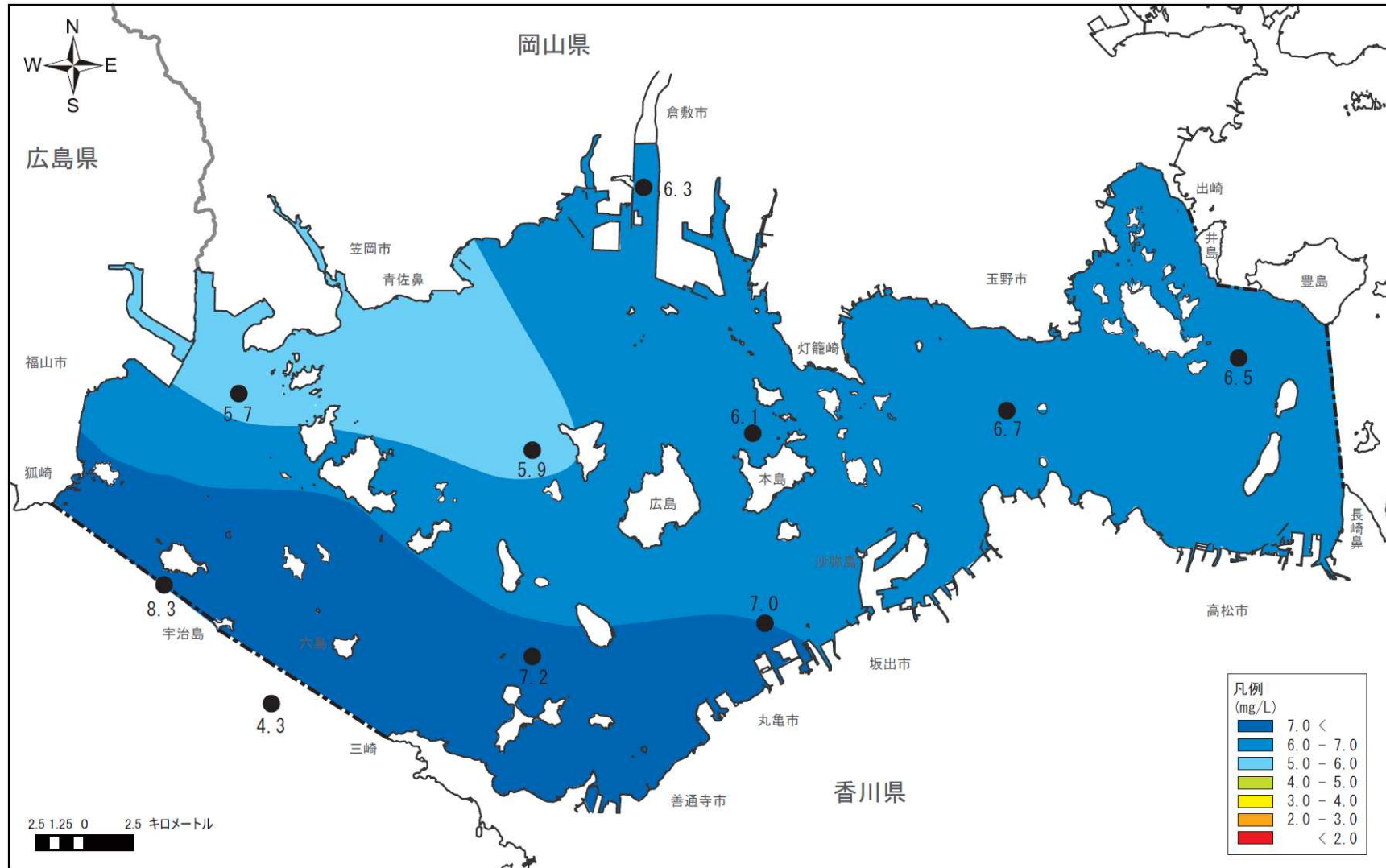


図 2.7 主な浅場



注1) 平成19~23年の夏季下層DOのうち、DO濃度分布が最も悪化した平成20年を掲載した。

注2) 測定位置：海底直上1m 出典：環境省広域総合水質調査結果

図2.8 夏季下層DOの分布状況(平成20年)

表 2.4 主要魚介類の選定結果

瀬戸内海における主な魚介類		周年定住種	備讃瀬戸における漁獲量上位種	保護水面対象種	産卵場、生育場が藻場・干潟等特定域に該当する種	選定結果	選定理由		
魚類	イカナゴ			保護水面あり(対象種:藻場・水産動植物)					
	コノシロ								
	マコガレイ						生育場が干潟に依存する。		
	イシガレイ							生育場が干潟に依存する。	
	メイタガレイ								
	ヒラメ							生育場が干潟に依存する。	
	タマガンゾウヒラメ								
	イヌノシタ								
	クロダイ								
	マダイ								生育場が砂浜性藻場に依存する。
	ヘダイ								
	イボダイ								
	スズキ								生育場が砂浜性藻場に依存する。
	アカカマス								
	イサキ								
	シイラ								
	ニベ								
	シログチ								
	ペラ								
	カサゴ								
	メバル								
	アイナメ								
	トカゲエソ								
	マエソ								
	サウラ								
	マナガツオ								
	カタクチイワシ(シラス)								
	タチウオ								
	マサバ								
	マアジ								
	マルアジ								
	ブリ								
マイワシ									
ハモ									
マアナゴ									
ウナギ									
ボラ									
カワハギ									
トラフグ									
シロザメ									
アカエイ									
イカ・タコ類	マダコ								
	イイダコ								
	テナガダコ								
	コウイカ								
エビ・カニ類	スルメイカ								
	ガザミ						生育場が干潟に依存する。		
	シャコ								
	クルマエビ						生育場が干潟に依存する。		
貝類	アカエビ								
	キシエビ								
	ヨシエビ								
	アサリ								
	アカガイ								
	サルボウ								
	タイラギ								
	トリガイ								
	バカガイ								
	ハマグリ								
マテガイ									
サザエ									
棘皮類	マナモコ								

主な魚介類：以下の文献により抽出した。  
 「瀬戸内海の生物資源と環境（岡市ら，1996）」  
 「瀬戸内海のさかな（瀬戸内海水産開発協議会編，1997）」  
 「日本全国沿岸海洋誌（日本全国沿岸海洋研究部会編，1985）」  
 周年定住種：以下の文献を参考に判断した。  
 沿岸至近域における海洋生物の生態知見（魚類・イカタコ類編）（（財）海洋生物研究所，1991）  
 沿岸至近域における海洋生物の生態知見（貝類・甲殻類・ウニ類編）（（財）海洋生物研究所，1991）  
 新版魚類学（下）改訂版（落合明・田中克，1998）  
 水産生物の生活史と生態（（社）日本水産資源保護協会，1985）  
 水産生物の生活史と生態（続）（（社）日本水産資源保護協会，1986）  
 水生生物生態資料（（社）日本水産資源保護協会，1981）  
 水生生物生態資料（続）（（社）日本水産資源保護協会，1983）  
 漁獲量上位種：の魚種のうち、「瀬戸内海区及び太平洋南区における漁業動向（平成7年～16年）中国四国農政局統計部」の漁獲量が50位以内の種。  
 保護水面対象種：水産資源保護法に基づく保護水面として指定された水域がある場合、その対象魚種。  
 産卵場・生育場が藻場・干潟・サンゴ礁の特定域に該当する種  
 魚介類の生態特性により、産卵場あるいは生育場のいずれかにおいて、砂浜性藻場、岩礁性藻場、干潟、サンゴ礁のいずれかを利用するものに を付した。岩礁性藻場、岩礁域のいずれも利用するものは特定の場に依存するとはしていない。  
 選定結果： - 全ての項目に該当する魚介類。

表 2.5(1) 主要魚介類(7種)の生態特性

分布域  
分布域(水深情報不足)

主要魚介類	卵形態	水深	産卵場	主な分布状態			幼稚仔魚の分布域(底質環境)											
				卵	仔魚期	稚魚期	泥	干潟	砂・泥	アマモ場	砂・礫	岩礁	アラモ場	カジメ場	ガラモ場	コンブ場	その他藻場	その他
スズキ	分離浮性卵	表層	岩礁域(外海水の影響を受ける水深50~80m)	浮遊生活(沿岸域)	浮遊生活(沿岸域)(仔魚後期はアマモ場・河口域周辺に移動する)	底性生活					稚魚期(体長12~60mmまで)							河川域:稚魚期(体長12~60mmまで)
		表層下-10m																
		11-20m																
		21-30m																
		31-40m																
		41-50m																
51m~																		
マコガレイ	付着沈性卵	表層	沿岸域(水深10~50mの砂泥・砂礫・岩礁)	海底塊状粘着	浮遊生活(変態期まで)(水深10m前後)	底性生活(30m以浅)		稚魚(30m以浅)	稚魚(30m以浅)	稚魚(30m以浅)								
		表層下-10m																
		11-20m																
		21-30m																
		31-40m																
		41-50m																
51m~																		
イシガレイ	分離浮性卵	表層	内湾(水深30m以浅の泥質域)	浮遊生活(沿岸域)	浮遊生活から底性生活へ移行(仔魚期変態期以降)	底性生活(10m以浅の浅所)		稚魚期(10m以浅の浅所)	稚魚期(10m以浅の浅所)									
		表層下-10m																
		11-20m																
		21-30m																
		31-40m																
		41-50m																
51m~																		
ヒラメ	分離浮性卵	表層	沿岸域(水深20~50mの砂泥・砂礫・岩礁)	浮遊生活(沿岸域)	浮遊生活(変態期まで)(表層~中層20mに多く分布)	底性生活(10m以浅)		稚魚(10m以浅)										
		表層下-10m																
		11-20m																
		21-30m																
		31-40m																
		41-50m																
51m~																		

出典:沿岸至近域における海洋生物の生態知見(魚類・イカタコ類編) ((財)海洋生物研究所,1991)  
 新版魚類学(下)改訂版 (渚合明・田中克,1998)  
 水産生物の生活史と生態 ((社)日本水産資源保護協会,1985)  
 主要対象生物の発育段階の生態的知見の収集整理 (平成18年度水産基盤整備調査委託事業報告書:水産庁,2006)